

(様式第 10)

群大医総 2 第 8 2 5 号
平成 2 6 年 1 0 月 1 日

厚生労働大臣

殿

群馬大学医学部附属病院長
野 島 美

群馬大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定ウに基づき、平成 2 5 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 3 7 1 - 8 5 1 0 群馬県前橋市荒牧町 4 - 2
氏 名	国立大学法人群馬大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

群馬大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒 3 7 1 - 8 5 1 1 群馬県前橋市昭和町 3 - 3 9 - 1 5	電話 (0 2 7) 2 2 0 - 7 1 1 1
---	------------------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 循環器内科 2 神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 心臓血管外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科	(2)小児科	(3)整形外科	(4)脳神経外科	(5)皮膚科	(6)泌尿器科	7産婦人科
(8)産科	(9)婦人科	(10)眼科	(11)耳鼻咽喉科	(12)放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	(15)麻酔科	(16)救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ (無)
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1リハビリテーション科 2病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	9床	0床	680床	731床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	302 人	301 人	514.1人	看護補助者	80 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	8 人	20 人	24.9人	理学療法士	11 人	臨床検査技師	62 人
薬 剤 師	53 人	0 人	53.0人	作業療法士	5 人	衛生検査技師	0 人
保 健 師	0 人	1 人	0.7人	視能訓練士	9 人	その他	0 人
助 産 師	24 人	0 人	24.0人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	729 人	54 人	770.3人	臨床工学技士	10 人	医療社会事業従事者	7 人
准看護師	0 人	1 人	0.2人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	8 人
歯科衛生士	2 人	0 人	2.0人	歯科技工士	2 人	事務職員	197 人
管理栄養士	10 人	1 人	11.0人	診療放射線技師	52 人	その他の職員	3 人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	20 人	眼科専門医	8 人
外科専門医	43 人	耳鼻咽喉科専門医	12 人
精神科専門医	5 人	放射線科専門医	17 人
小児科専門医	17 人	脳神経外科専門医	8 人
皮膚科専門医	10 人	整形外科専門医	12 人
泌尿器科専門医	12 人	麻酔科専門医	23 人
産婦人科専門医	17 人	救急科専門医	4 人
		合 計	208 人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	600.90 人	14.74 人	615.64 人
1日当たり平均外来患者数	2023.20 人	95.99 人	2,119.19 人
1日当たり平均調剤数			626.94 剤
必要医師数			177 人
必要歯科医師数			3 人
必要薬剤師数			21 人
必要(准)看護師数			379 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	2,097 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	17床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 220 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	8床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 62 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	630 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備) 臨床化学自動検査システム			
細菌検査室	117 m ²	"	(主な設備) 細菌同定感受性総合検査システム			
病理検査室	116 m ²	"	(主な設備) 自動標本染色装置, ミクロトーム 他			
病理解剖室	204 m ²	"	(主な設備) 解剖台 他			
研究室	13,079 m ²	"	(主な設備) パソコン, 実験台, 遠心分離機, 書籍棚			
講義室	1,284 m ²	"	室数	3室	収容定員	509人
図書室	2,413 m ²	"	室数	3室	蔵書数	138,500冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	79.6%	逆紹介率	63.2%
算出根拠	A: 紹介患者の数		17,996人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,932人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,058人
	D: 初診の患者の数		25,171人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経変性疾患の遺伝子診断	2人
マントル細胞リンパ腫の遺伝子検査	3人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	86人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	19人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰外肢痛の治療	0人
重粒子線治療	496人
RET遺伝子診断	3人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測結果	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
上皮性卵巣癌・卵管癌・腹膜原発癌に対するパクリタキセル毎週静脈内投与併用カルボプラチン3週毎腹腔内投与	0人
パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃がん	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	2人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	1人
ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	5人
インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	PNPLA3の遺伝子診断による非アルコール性脂肪性肝炎発症の予測評価	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 PNPLA3の遺伝子多型を測定することにより、非アルコール性脂肪性肝炎の発症・疾患重症度(炎症、肝線維化の程度)を予測する。			
医療技術名	CYP2C19の遺伝子多型測定	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 ピロリ菌除菌前の治療効果判定でPPIの代謝に関与するCYP2C19の遺伝子多型を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	ITPAの遺伝子多型測定	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 C型慢性肝炎のIFN治療効果予測としてのリバビリン貧血規定遺伝子ITPAの遺伝子多型を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	IRRDRの変異を測定	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 C型慢性肝炎のIFN治療効果予測としてのウイルス遺伝子変異IRRDRの変異を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	多発性内分泌腫瘍症1型(MEN1)の遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 多発性内分泌腫瘍症1型が疑われる患者への遺伝カウンセリングとMEN1遺伝子変異検査および家系内で遺伝新変異が確認されている場合の保因者診断。			
医療技術名	多発性内分泌腫瘍症4型(MEN4)の遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 多発性内分泌腫瘍症4型が疑われる患者への遺伝カウンセリングとCDKN1B遺伝子変異検査。			
医療技術名	原発性アルドステロン症の確定診断	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 原発性アルドステロン症患者におけるKCNJ5遺伝子変異検査。			
医療技術名	家族性大腸ポリポーシスの遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 家族性大腸ポリポーシスが疑われる患者への遺伝カウンセリングとAPC遺伝子変異検査および家系内で遺伝子変異が確認されている場合の保因者診断。			
医療技術名	LPL欠損症に対する遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 LPL欠損が原因と思われる1型及び5型高脂血症が疑われる患者への遺伝カウンセリングとLPL遺伝子変異検査。			
医療技術名	再発性難治性甲状腺嚢胞に対する硬化療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 再発を繰り返す難治性甲状腺嚢胞へのビシバニール注入による嚢胞硬化療法。			
医療技術名	副腎皮質機能低下症のCGMを用いた病態把握	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 原発性もしくは続発性副腎皮質機能低下症の患者に持続血糖測定を行い、低血糖症の発現時期を確認する。			

医療技術名	低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 サイクリンD1遺伝子の定量により、マントル細胞リンパ腫と他の低悪性度リンパ腫と鑑別を容易にし、適切な治療方針を迅速に立てることができるようになる。			
医療技術名	新生児脳低温療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 新生児低酸素性虚血性脳症へ全身管理しながら脳低温療法を行う。			
医療技術名	新生児一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 新生児遷延性肺高血圧症に対して一酸化窒素吸入療法を含めた全身管理を行う。			
医療技術名	食道pH・インピーダンス測定	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 胃食道逆流性診断のための検査。			
医療技術名	小児に対する上部・下部内視鏡検査	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 危険性の高い乳幼児も対象とした、消化管の検査。			
医療技術名	小児に対する肝生検	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 麻酔を含め、合併症危険の高い乳児、幼児も対象とした生検。			
医療技術名	脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 小児脳症患者へ全身管理しながら脳低温療法を行う。			
医療技術名	脾低悪性度腫瘍に対する腹腔鏡補助下肝中央区域切除	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 脾の低悪性度腫瘍に対して、腹腔鏡下に脾切除後に、小開腹下に脾・空腸吻合再建して、その治療の安全性や効果を検討する。			
医療技術名	手指および外陰部皮膚腫瘍におけるHuman papillomavirus の検出	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 皮膚腫瘍のパラフィンブロックよりDNAを抽出し、Human papillomavirus DNAをPCR法で検出する。ハイリスクHPVが検出された場合は感染予防に努める。			
医療技術名	難治性眼疾患に対する羊膜移植術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 羊膜は、免疫学的に寛容な組織であり、他人に移植してもほとんど拒絶反応を生じないとされている。また、これまでの研究により、羊膜には、抗炎症作用、創傷治癒作用、線維化抑制作用などがあることが知られている。 これまで、難治性とされてきた眼表面疾患は、炎症や線維化、それに伴う瘢痕癒着、あるいは拒絶反応により、たとえ手術をおこなったとしても早期に視力障害を生じて不成功に終わることも少なくなかった。 羊膜移植は、これらの問題を解決して、難治性角結膜疾患に対する手術を可能とし、術後長期にわたり患者の視力を維持ができ、また失明の予防ができるものとして、有効な治療法であるとの数々の報告がある。 以上のような根拠に基づいて、手術以外では解決不可能な難治性の角結膜疾患に対して、眼表面に羊膜を移植する手術を行うことにより、抗炎症、創傷治療、線維化抑制などが図られ、患者の視力予後の向上が期待できると考えられる。			
医療技術名	前立腺癌に対するロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術(RALP)	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 医療ロボット:da Vinci(ダ・ヴィンチ)Siサージカルシステムを用いた、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を行う。			
医療技術名	肝悪性腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 肝細胞癌、転移性肺癌などの肝悪性腫瘍似対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			

医療技術名	肺悪性腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
原発性肺癌、転移性肺癌などの肺悪性腫瘍に対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	有痛性骨軟部腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要			
疼痛を有する転移性骨軟部腫瘍や類骨骨腫などに対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
類骨骨腫に対し、画像誘導下に経皮的ラジオ波凝固療法を行う。			
医療技術名	I-131MIBGによる悪性神経内分泌腫瘍の核医学治療	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
悪性の神経内分泌腫瘍(褐色細胞腫、旁神経節腫瘍、交感神経節腫瘍、神経芽細胞腫などの神経提由来の腫瘍群)を対象として、 I-131MIBG Metaiodoenzylguanidine(MIBG)による核医学治療を行う。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	90人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	117人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	146人	・原発性胆汁性肝硬変	19人
・全身性エリテマトーデス	340人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	81人
・再生不良性貧血	59人	・混合性結合組織病	35人
・サルコイドーシス	217人	・原発性免疫不全症候群	10人
・筋萎縮性側索硬化症	54人	・特発性間質性肺炎	26人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	373人	・網膜色素変性症	34人
・特発性血小板減少性紫斑病	98人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	55人	・肺動脈性肺高血圧症	10人
・潰瘍性大腸炎	175人	・神経線維腫症	21人
・大動脈炎症候群	41人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	42人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	63人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	71人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	102人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	255人	・球脊髄性筋萎縮症	8人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	19人
・後縦靭帯骨化症	48人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	64人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	22人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	9人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	60人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	27人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	188人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・呼吸ケアチーム加算
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算
・歯科診療特別対応連携加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・特定機能病院入院基本料	・特定集中治療室管理料
・臨床研修病院入院診療加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・緊急医療管理加算	・新生児特定集中治療室管理料2
・超急性期脳卒中加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・妊産婦緊急搬送入院加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・診療録管理体制加算	・小児入院医療管理料3
・急性期看護補助体制加算	・短期滞在手術基本料1
・療養環境加算	・短期滞在手術基本料2
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・歯科技工加算
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・高度難聴指導管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・喘息治療管理料	・羊膜移植術
・糖尿病合併症管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・がん性疼痛緩和指導管理料	・網膜再建術
・がん患者指導管理料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・外来緩和ケア管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・糖尿病透析予防指導管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外に係るものに限る。)
・外来リハビリテーション診療料	・一酸化窒素吸入療法
・外来放射線照射診療料	・歯科技工加算
・ニコチン依存症管理料	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・地域連携診療計画管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・がん治療連携計画策定料	・羊膜移植術
・認知症専門診断管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・肝炎インターフェロン治療計画料	・網膜再建術
・薬剤管理指導料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・医療機器安全管理料1	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・医療機器安全管理料2	・経皮的冠動脈形成術
・医療機器安全管理料(歯科)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・歯科治療総合医療管理料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・経皮的中心筋焼灼術
・持続血糖測定器加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・造血器腫瘍遺伝子検査	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術

・検体検査管理加算(Ⅰ)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・遺伝カウンセリング加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・経皮的大動脈遮断術
・植込型心電図検査	・ダメージコントロール手術
・時間内歩行試験	・腹腔鏡下肝切除術
・胎児心エコー法	・生体部分肝移植術
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
・人工臓腑	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・皮下連続式グルコース測定	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの。)
・光トポグラフィー	・同種死体腎移植術
・神経学的検査	・生体腎移植術
・補聴器適合検査	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・コンタクトレンズ検査料	・輸血管理料Ⅰ
・小児食物アレルギー負荷検査	・輸血管理料Ⅱ
・内服・点眼誘発試験	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)	・内視鏡手術用支援機器加算
・画像診断管理加算2	・歯周組織再生誘導手術
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・CT撮影及びMRI撮影	・麻酔管理料(Ⅰ)
・冠動脈CT撮影加算	・放射線治療専任加算
・心臓MRI撮影加算	・外来放射線治療加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・高エネルギー放射線治療
・無菌製剤処理料	・1回線量増加加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・定位放射線治療
・認知療法・認知行動療法	・定位放射線治療呼吸移動対策加算

<ul style="list-style-type: none"> ・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・病理診断管理加算
<ul style="list-style-type: none"> ・医療保護入院等診療料 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔病理診断管理加算
<ul style="list-style-type: none"> ・透析液水質確保加算 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウンブリッジ維持管理料
<ul style="list-style-type: none"> ・一酸化窒素吸入療法 	<ul style="list-style-type: none"> ・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・抗悪性腫瘍剤感受性調査	・
・羊膜移植術	・
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子検査	・
・光トポグラフィー	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	8回 / 月
剖 検 の 状 況	剖検症例数 33 例 / 剖検率 11.50%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内在性カンナビノイドの神経終末における産生機構と神経発達への影響の検討	麻生 知寿	麻酔科蘇生科	800,000	補助委 日本学術振興会
アトピー性皮膚炎における痒みとその制御	天野 博雄	皮膚科	1,200,000	補助委 日本学術振興会
CTOS法を用いた前立腺癌アンドロゲン維持機構の解明とオーダーメイド治療の可能性	新井 誠二	泌尿器科	1,600,000	補助委 日本学術振興会
アレルギー病態理解と新規治療法開発に向けたリンパ球刺激試験法の改良	荒川 浩一	小児科	900,000	補助委 日本学術振興会
ヒト先天性側弯症の原因遺伝子の同定と発症機序の解析	飯塚 伯	整形外科	1,900,000	補助委 日本学術振興会
タウのリン酸化におけるプレセニリンの役割と脳脊髄液における分子機能の解析	池田 将樹	神経内科	1,300,000	補助委 日本学術振興会
新たな遺伝性脊髄小脳変性症SCA36の分子病態解明と治療法開発研究	池田 佳生	神経内科	1,200,000	補助委 日本学術振興会
神経膠腫におけるIDH1変異:免疫組織化学による診断基準の確立	伊古田 勇人	病理部	1,700,000	補助委 日本学術振興会
腎性全身性線維症における皮膚線維化、石灰化機序の解明	石川 治	皮膚科	1,500,000	補助委 日本学術振興会
放射線治療反応性と関連する遺伝子変異プロファイルの同定	尾池 貴洋	放射線科	900,000	補助委 日本学術振興会
心肺蘇生後脳保護における二酸化炭素の有効性に関する実験的研究	大嶋 清宏	救命・総合医療センター(救急)	700,000	補助委 日本学術振興会
子宮頸癌の再発リスク分類とリスクに応じた高精度放射線治療法の開発	大野 達也	重粒子線医学推進機構	800,000	補助委 日本学術振興会
非小細胞肺癌の放射線抵抗性メカニズムの解明	岡野 奈緒子	放射線科	1,400,000	補助委 日本学術振興会
慢性痛の脳をMRIで探索し、メカニズムと予測因子を明らかにする	荻野 祐一	麻酔科蘇生科	1,500,000	補助委 日本学術振興会
多発性内分泌腫瘍症1型の腫瘍発生メカニズムの解明	小澤 厚志	第一内科	700,000	補助委 日本学術振興会
神経障害性疼痛治療に有効な薬剤の機序解明—下行性抑制系の活性化と薬剤可塑性—	小幡 英章	麻酔科蘇生科	2,600,000	補助委 日本学術振興会
青斑核を活性化する薬剤とその機序-下行性抑制系の強化による神経障害性疼痛の治療-	小幡 英章	麻酔科蘇生科	2,600,000	補助委 日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌の発生進展とLAT1発現 分子治療の可能性	小山 徹也	病理部	500,000	補助委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肺癌における血管新生阻害剤(ベバシズマブ)のバイオマーカー探索	解良 恭一	寄附講座・がん治療臨床開発学講座	300,000	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患の病態における核内受容体PXR・CARの役割	柿崎 暁	第一内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
敗血症における中枢神経障害でのRAGEとHMGB-1の関与と治療法の確立	門井 雄司	手術部	1,200,000	補委	日本学術振興会
AA-PET/CTによる粒子線照射時の生体内実線量分布を画像化する技術を確立する	加藤 弘之	医学生物学部門	1,400,000	補委	日本学術振興会
体表面十二誘導心電図による心房粗動回路の推定法の開発	金古 善明	第二内科	2,900,000	補委	日本学術振興会
樹状細胞に発現する細胞質型チロシン脱リン酸化酵素に関する研究	金子 和光	第三内科	1,700,000	補委	日本学術振興会
新規局所麻酔徐放薬による新たな術後鎮痛法開発	神山 治郎	集中治療部	1,000,000	補委	日本学術振興会
早産の分子メカニズムとその予防について	木暮 圭子	産科婦人科	500,000	補委	日本学術振興会
リポ蛋白質HDLの抗動脈硬化作用におけるAMPキナーゼの役割と循環器疾患治療薬	木村 孝穂	検査部	800,000	補委	日本学術振興会
神経障害性疼痛におけるオピオイドの鎮痛作用減弱機序の解明	木村 雅文	麻酔科蘇生科	1,000,000	補委	日本学術振興会
心臓におけるグルコース代謝亢進は重症敗血症の心機能と生命予後を改善する	國元 文生	集中治療部	1,400,000	補委	日本学術振興会
GABA作動性ニューロンの可視化による成長期の脳神経回路構築への麻酔薬の影響	久保 和宏	麻酔科蘇生科	700,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病における骨・血管連関の分子メカニズムの解明と心血管リスク予測への応用	倉林 正彦	第二内科	3,700,000	補委	日本学術振興会
アドレノメデュリンの循環作用と麻酔薬-作用機序の解明と敗血症における意義	黒田 昌孝	麻酔科蘇生科	1,200,000	補委	日本学術振興会
治療抵抗性腎癌・前立腺癌に対する抗サバイビンおよび重粒子線による治療の基礎的研究	小池 秀和	泌尿器科	900,000	補委	日本学術振興会
心臓リモデリングとエネルギー基質変換における細胞型特異的TGFβシグナルの役割	小坂橋 紀通	第二内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
アクチンミオシン結合蛋白トランスジェニックマウスにおける間質性肺炎の検討	古賀 康彦	第一内科	800,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧症血管平滑筋におけるNotch-TGFβ-PIAS1経路の解明	小和瀬 桂子	救命・総合医療センター(総合診療)	1,500,000	補委	日本学術振興会
多階層的疼痛治療開発:ナノ粒子とパワーアシストの臨床応用	齋藤 繁	麻酔科蘇生科	1,400,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
低酸素腫瘍に対するX線・重粒子線感受性の分子生物学的機構の解明に関する基礎的研究	齋藤 淳一	放射線科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
多発性骨髄腫における塩基除去修復の解析	齋藤 貴之	第三内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
骨格筋における新規糖代謝シグナル伝達機構の解明	齋藤 従道	第一内科	2,200,000	補 委	日本学術振興会
新しいRFIDを利用した病院業務定量化の確立	齋藤 勇一郎	システム統合センター	1,200,000	補 委	日本学術振興会
慢性腎臓病におけるアンドロゲン受容体シグナルの重要性	坂入 徹	第三内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
Autophagyによる抗原提示を用いた頭頸部癌ワクチン療法の開発	坂倉 浩一	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎における核内受容体転写共役活性化因子PDIP1の役割	佐藤 賢	光学医療診療部	1,000,000	補 委	日本学術振興会
転写共役因子PDIP1欠損による脂質代謝異常の病態解析とPDIP1の分子機能解析	佐藤 哲郎	内分泌内科	800,000	補 委	日本学術振興会
子宮頸部腺癌におけるHPV感染と遺伝子異常の検討ー胃型形質との関係を含めてー	佐野 孝昭	病理部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
虚血に対する内側前庭神経核ニューロンの一過性過分極メカニズム	紫野 正人	耳鼻咽喉科	500,000	補 委	日本学術振興会
卒後臨床現場における卒前のチーム医療教育(卒前IPE)の効果の検証	篠崎 博光	産科婦人科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
乳児期を中心とした小児急性白血病と骨髄異形成症候群における新規原因遺伝子の解析	柴 徳生	小児科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
小児急性骨髄性白血病における網羅的な遺伝子プロファイルの解明	柴 徳生	小児科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
ホルモンのサーカディアンリズム障害に立脚した前立腺癌リスクの解析	柴田 康博	泌尿器科	2,700,000	補 委	日本学術振興会
皮膚腫瘍におけるヒトパピローマウイルス感染の検討と病変形成メカニズムの解明	清水 晶	皮膚科	1,800,000	補 委	日本学術振興会
神経膠芽腫における放射線誘導HIF-1 α のメカニズムと放射線抵抗性に関する探索	白井 克幸	医学生物学部門	1,600,000	補 委	日本学術振興会
FMT-PETにおける悪性脳腫瘍へのトレーサーの集積機序の解析	菅原 健一	脳神経外科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
前立腺癌における脂質代謝に関する研究	鈴木 和浩	泌尿器科	1,800,000	補 委	日本学術振興会
ドラッグデリバリーシステムを利用した周術期鎮痛法としての徐放薬の作成	鈴木 敏之	麻酔科蘇生科	800,000	補 委	日本学術振興会
放射線による抗腫瘍免疫誘導の解明と、その増強に関する基礎的・臨床的研究	鈴木 義行	放射線科	1,300,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
非小細胞肺癌にてKRAS変異及びEGFR変異により誘導されるEREG発現の意義	砂長 則明	腫瘍センター	600,000	補助 委	日本学術振興会
糖尿病患者における動脈硬化進展の病期を反映する至適バイオマーカーの探索	角野 博之	検査部	1,000,000	補助 委	日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌でのスタチンによる腫瘍内アンドロゲンde novo合成への影響	関根 芳岳	泌尿器科	1,100,000	補助 委	日本学術振興会
神経分化因子を用いた神経再生制御による神経障害性疼痛治療方法の開発	関本 研一	麻酔科蘇生科	1,100,000	補助 委	日本学術振興会
神経変性疾患のリハビリテーションにおける運動機能と高次脳機能の相互作用の検討	宗宮 真	リハビリテーション部	900,000	補助 委	日本学術振興会
臍板断裂モデルラットにおける棘下筋の代償性筋肥大	高岸 憲二	整形外科	1,300,000	補助 委	日本学術振興会
慢性疼痛治療の新規分子標的候補であるグリシン受容体 α 3サブユニットの役割の解明	高澤 知規	麻酔科蘇生科	1,200,000	補助 委	日本学術振興会
イノシトール3リン酸レセプターをレドックス制御する新規タンパクの内耳発現形態	高橋 克昌	耳鼻咽喉科	1,800,000	補助 委	日本学術振興会
循環不全モデルにおける脳幹前庭神経細胞の発火特性変化の解明	高安 幸弘	耳鼻咽喉科	700,000	補助 委	日本学術振興会
多発性骨髄腫の発症・進展におけるAIDとMMSETの役割	滝沢 牧子	第三内科	500,000	補助 委	日本学術振興会
神経性食思不振症に対するオキシトシンの効果-NIRSによる検討-	武井 雄一	精神科神経科	1,000,000	補助 委	日本学術振興会
小腸虚血再灌流障害に対するRhoキナーゼ阻害薬の効果とメカニズムの解明	竹吉 泉	第二外科	1,300,000	補助 委	日本学術振興会
3次元的生物効果線量(BED)分布解析による新たな包括的放射線治療評価法の探索	田巻 倫明	放射線科	1,200,000	補助 委	日本学術振興会
エピジェネティクスを標的とした癌幹細胞への新しい治療戦略の開発	近松 一朗	耳鼻咽喉科	900,000	補助 委	日本学術振興会
悪性リンパ腫におけるグルコース代謝の解析と治療への応用	塚本 憲史	腫瘍センター	2,100,000	補助 委	日本学術振興会
PLGA微小気泡による新しい腫瘍特異性超音波造影剤の開発	対馬 義人	核医学科	1,300,000	補助 委	日本学術振興会
石綿肺早期発見と病態解明をめざすイオンビームを応用した新手法の開発	土橋 邦生	第一内科	4,000,000	補助 委	日本学術振興会
徐放化鎮痛薬の開発ならびに疼痛治療への応用	戸部 賢	集中治療部	900,000	補助 委	日本学術振興会
分子シャペロンを用いた糖尿病再生医療戦略	伴野 祥一	第二内科	500,000	補助 委	日本学術振興会
癌関連線維芽細胞を標的とした頭頸部癌の新しい治療法の開発	豊田 実	耳鼻咽喉科	1,300,000	補助 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経障害性疼痛における下行性抑制系の経時的变化と抗うつ薬の鎮痛効力の比較	中島 邦枝	麻酔科蘇生科	1,100,000	⑤ 委 日本学術振興会
虚血性心疾患にともなう致死性不整脈発症の遺伝的基盤についての検討	中島 忠	第二内科	800,000	⑤ 委 日本学術振興会
がんに対する重粒子線治療法高度化の為の基礎的・臨床的研究	中野 隆史	放射線科	3,800,000	⑤ 委 日本学術振興会
血管石灰化抑制ホルモンとしてのFGF23の役割の解明	中原 健裕	第二内科	1,800,000	⑤ 委 日本学術振興会
マイクロPIXEによるインターフェロン及びリバビリン併用患者の貧血の解明	長嶺 竹明	第一内科	1,000,000	⑤ 委 日本学術振興会
インスリン抵抗性が気分障害の遷延化に与える影響に関する包括的検討	成田 耕介	精神科神経科	1,200,000	⑤ 委 日本学術振興会
糸球体バリアー機能におけるチロシンリン酸化脱リン酸化経路の解析	野島 美久	第三内科	1,100,000	⑤ 委 日本学術振興会
神経膠芽腫幹細胞を標的とした新規放射線治療法の開発	野田 真永	放射線科	1,400,000	⑤ 委 日本学術振興会
細胞外マトリックスを使用したヒト骨髄異形成症候群特異的iPS細胞長期培養系樹立	半田 寛	第三内科	1,200,000	⑤ 委 日本学術振興会
中枢神経系ラブドイド腫瘍の新たな分類と概念の確立	平戸 純子	病理部	1,200,000	⑤ 委 日本学術振興会
上行性感覚信号賦括によるヒト随意運動神経回路網機能再建についての研究	平戸 政史	脳神経外科	1,000,000	⑤ 委 日本学術振興会
ボウマン嚢上皮細胞のシグナル伝達経路からみた糸球体障害機序の解析	廣村 桂樹	第三内科	1,200,000	⑤ 委 日本学術振興会
NIRSによるreal-world脳機能画像にもとづく精神疾患の生活障害の解明	福田 正人	精神科神経科	2,500,000	⑤ 委 日本学術振興会
血管新生因子ShhによるAngiopoietin制御機構:病態モデルへの展開	藤井 孝明	第一外科	1,100,000	⑤ 委 日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症の神経病理学的, 分子遺伝学的検討	藤田 行雄	神経内科	1,100,000	⑤ 委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎におけるマクロファージ遊走阻止因子(MIF)の役割	堀口 昇男	第一内科	1,500,000	⑤ 委 日本学術振興会
血管内皮由来因子による腎幹細胞数の制御	前嶋 明人	第三内科	1,000,000	⑤ 委 日本学術振興会
日本人前立腺癌における全ゲノム関連解析から同定された前立腺癌責任遺伝子座群の検討	松井 博	重粒子線医学推進機構	1,200,000	⑤ 委 日本学術振興会
α2アドレナリン受容体作動薬徐放薬を用いた神経障害性疼痛の治療	松岡 宏晃	麻酔科蘇生科	1,200,000	⑤ 委 日本学術振興会
脊髄マイクログリアにおいて術後痛の程度を反映する分子生物学的マーカーの同定	三枝 里江	腫瘍センター	900,000	⑤ 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
微小転移モデル確立による食道癌の転移メカニズムと各転移過程における細胞動態の解明	宮崎 達也	第一外科	500,000	補 委	日本学術振興会
顎口腔領域における蛍光血管造影法を用いたナビゲーションサージャリーの確立	宮崎 英隆	歯科口腔外科	3,200,000	補 委	日本学術振興会
Hsp90阻害剤併用炭素イオン線照射による放射線感受性修飾変化の検討	武者 篤	医学生物学部門	1,300,000	補 委	日本学術振興会
糖尿病の一塩基多型の解析と新たなインスリン分泌調節機構の解明	村上 正巳	検査部	3,500,000	補 委	日本学術振興会
重粒子線照射後におけるヒト癌細胞の遊走、浸潤、転移能についての研究	村田 和俊	放射線科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
SENDAの治療を目指したオートファジー不全と鉄代謝が神経組織に及ぼす機構の解明	村松 一洋	小児科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
腫瘍血管新生における間葉系幹細胞の役割	茂木 精一郎	皮膚科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
細胞形態、糖代謝、微小環境からアプローチする悪性骨軟部腫瘍の転移浸潤制御	柳川 天志	整形外科	2,800,000	補 委	日本学術振興会
社会脳に着目した認知症への脳活性化リハビリテーションの開発と医療への適応拡大	山口 晴保	神経内科	2,100,000	補 委	日本学術振興会
オーバル細胞増殖を介した肝再生・修復における核内受容体CARの役割	山崎 勇一	第一内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
LH作用の分子メカニズムの解明による新規排卵誘発法の開発	山下 宗一	産科婦人科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
ガドリニウムによる皮膚線維化・石灰化機序の解明	山田 和哉	皮膚科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
グリシンの炎症性疼痛・術後痛における役割の解明：VGATヘテロマウスを用いた解析	山田 真紀子	麻酔科蘇生科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
新たな疾患概念「潜在性中枢性甲状腺機能低下症」の確立と病態の解析	山田 正信	第一内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
TGF- β /Smad3シグナル伝達経路をターゲットとした新創傷治療法の開発	横尾 聡	歯科口腔外科	2,700,000	補 委	日本学術振興会
グリオーマ好発性トランスジェニックラットの解析	横尾 英明	病理部	3,600,000	補 委	日本学術振興会
マウス、ヒト食道のin vitro長期臓器培養法の確立	横堀 武彦	第一外科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
未破裂脳動脈瘤のリスクと心理的ストレスによる生活の質低下の定量化	好本 裕平	脳神経外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
Immune checkpointsを標的とした膀胱癌ワクチン療法の開発	和田 聡	第一外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
微小変化型ネフローゼ症候群におけるDNAメチル化を指標とした病態診断法の開発	渡部 登志雄	小児科	1,200,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
NIRSを用いた精神疾患の早期診断についての実用化研究	福田 正人	精神科神経科	13,000,000	補 委	厚生労働省
統合失調症の診断, 治療法の開発に関する研究Ⅱ	福田 正人	精神科神経科	2,500,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
TAP-144-SR(3M)の閉経前乳癌患者に対する術後補助療法に関する比較試験終了後の追跡調査	堀口 淳	第二外科	527,500	補 委	(公財)パブリックヘルスリサーチセンター
精神疾患の鑑別診断および転帰の予測における近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)の有用性に関する研究	福田 正人	精神科神経科	1,000,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
中枢神経における細胞核構造とクロマチンダイナミクスの解析	滝沢 琢己	小児科	5,000,000	補 委	科学技術振興機構
金属錯体を発光プローブとするヒトの低酸素病態イメージングプロジェクト	秋山 英雄	眼科	2,400,000	補 委	科学技術振興機構
在宅高齢者の服薬忘れの改善と見守りを目的とした服薬支援装置の研究開発	鈴木 亮二	システム統合センター	798,200	補 委	科学技術振興機構
皮膚創傷治癒に対する新たな治療法の開発	茂木 精一郎	皮膚科	790,000	補 委	科学技術振興機構
筋萎縮性側索硬化症等神経難病患者及び家族に対する療養支援体制の整備と, 医療及び地域支援ネットワーク構築に関する研究	藤田 行雄	神経内科	3,685,000	補 委	群馬県
難病患者及び家族に対する相談体制の整備と支援体制に関する研究	藤田 行雄	神経内科	7,299,000	補 委	群馬県
COPD増悪モデルを用いたGAG分子薬の個体レベルでの薬効評価に関する研究	前野 敏孝	第二内科	2,500,000	補 委	医薬基盤研究所
リンパ系腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	塚本 憲史	腫瘍センター	1,000,000	補 委	国立がん研究センター
うつ病の異種性に対応したストレス脆弱性バイオマーカーの同定と分子病態生理の解明	福田 正人	精神科神経科	56,220,000	補 委	文部科学省
放射線治療を含む集学的治療の研究	中野 隆史	放射線科	200,000	補 委	国立がん研究センター
循環調節分子の情報伝達機能解明に基づく病態改善のための新規アプローチの開発	倉林 正彦	第二内科	1,500,000	補 委	国立循環器病研究センター
難聴児の社会適応性に関する研究	近松 一朗	耳鼻咽喉科	1,440,000	補 委	群馬県
実用的服薬支援装置の開発と実地実証試験	鈴木 亮二	システム統合センター	78,000	補 委	科学技術振興機構
臨床研究中核病院整備事業	中村 哲也	臨床試験部	493,733,000	補 委	厚生労働省
バーチャルメガホスピタルの確立による精神疾患・がんの新規診断・治療法の開発	中村 哲也	臨床試験部	70,000,000	補 委	厚生労働省

計 136

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
-------	-------	------	----	----------

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Katano-Toki A, Satoh T, Tomaru T, Yoshino S, Ishizuka T, Ishii S, Ozawa A, Shibusawa N, Tsuchiya T, Saito T, Shimizu H, Hashimoto K, Okada S, Yamada M, Mori M.	第一内科	THRAP3 interacts with HELZ2 and plays a novel role in adipocyte differentiation.	Mol Endocrinol.
2	Mori M, Yamada M, Okada S, Hashimoto K, Satoh T, Shimizu H, Yada T.	第一内科	Discovery of nesfatin-1 and overview of biological actions and new developments.	Curr Pharm Des.
3	Nakajima Y, Yamada M, Akuzawa M, Ishii S, Masamura Y, Satoh T, Hashimoto K, Negishi M, Shimomura Y, Kobayashi I, Andou Y, Mori M.	第一内科	Subclinical hypothyroidism and indices for metabolic syndrome in Japanese women: one-year follow-up study.	J Clin Endocrinol Metab.
4	Lee TW, Kwon H, Zong H, Yamada E, Vatish M, Pessin JE, Bastie CC	第一内科	Fyn deficiency promotes a preferential increase in subcutaneous adipose tissue mass and decreased visceral adipose tissue inflammation.	Diabetes
5	Yamada E, Bastie CC.	第一内科	Disruption of Fyn SH3 domain interaction with a proline-rich motif in liver kinase B1 results in activation of AMP-activated protein kinase.	PLoS One
6	Yamada E, Saito T, Okada S, Takahashi H, Ohshima K, Hashimoto K, Satoh T, Mori M, Okada J, Yamada M.	第一内科	Synip phosphorylation is required for insulin-stimulated Glut4 translocation and glucose uptake in podocyte.	Endocr J.
7	Haruka Aoki, Chihiro Mogi, Takeshi Hisada, Takashi Nakakura, Yosuke Kamide, Isao Ichimonji, Hideaki Tomura, Masayuki Tobo, Koichi Sato, Hiroaki Tsurumaki, Kunio Dobashi, Tetsuya Mori, Akihiro Harada, Masanobu Yamada, Masatomo Mori, Tamotsu Ishizuka, Fumikazu Okajima	第一内科	Proton-Sensing Ovarian Cancer G Protein-Coupled Receptor 1 on Dendritic Cells Is Required for Airway Responses in a Murine Asthma Model	PLoS One.
8	Kaori Seki, Takeshi Hisada, Tadayoshi Kawata, Yosuke Kamide, Kunio Dobashi, Masanobu Yamada, Masatomo Mori, Fumikazu Okajima, Tamotsu	第一内科	Oxidative stress potentially enhances Fc epsilon RI-mediated leukotriene C4 release dependent on the late-phase increase of intracellular glutathione in mast cells.	Biochem Biophys Res Commun
9	Kusano M, Hosaka H, Kuribayashi S, Shimoyama, Kawamura O, Yamada M.	第一内科	Gastrointestinal motility and functional gastrointestinal diseases	Curr Pharm Des
10	Shimoyama Y, Kusano M	第一内科	A randomized, placebo-controlled, double-blind clinical trial of rikkunshito for patients with non-erosive reflux disease refractory to proton-pump inhibitor: the G-PRIDE study.	J Gastroenterol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
11	Kusano M	第一内科	Randomised clinical trial: rabeprazole improves symptoms in patients with functional dyspepsia in Japan.	Aliment Pharmacol Ther
12	Kuribayashi S, Kawamura O, Kusano M	第一内科	Upper esophageal sphincter dysfunction: diverticula-globus pharyngeus.	Ann NYA Acad Sci
13	Tanaka Y, Sato K, et al.	第一内科	A prospective randomized controlled study of endoscopic sphincterotomy with the endocut or conventional blended cut mode.	J Clin Gastroenterol
14	Kojima A, Kakizaki S, Hosonuma K, Yamazaki Y, Horiguchi N, Sato K, Kitahara T, Mori M.	第一内科	Interferon treatment for patients with chronic hepatitis C complicated with chronic renal failure receiving hemodialysis.	J Gastroenterol Hepatol.
15	Hosonuma K, Sato K, Yanagisawa M, Kakizaki S, Takagi H, Hirato J, Mori M.	第一内科	Incidence, mortality, and predictive factors of hepatocellular carcinoma in primary biliary cirrhosis.	Gastroenterol Res Pract.
16	Tahara H, Sato K, Yamazaki Y, Ohyama T, Horiguchi N, Hashizume H, Kakizaki S, Takagi H, Ozaki I, Arai H, Hirato J, Jesenofsky R, Masamune A, Mori M.	第一内科	Transforming growth factor-alpha activates pancreatic stellate cells and may be involved in matrix metalloproteinase-1 upregulation.	Lab Invest.
17	Iida T, Okamura S, Kakizaki S, Sagawa T, Zhang Y, Kobayashi R, Masuo T, Mori M.	第一内科	Carbon dioxide insufflation reduces the discomfort due to colonoscopy as objectively analyzed by salivary stress markers.	Acta Gastroenterol Belg.
18	Sato K, Yanagisawa M, Hashizume H, Yamazaki Y, Horiguchi N, Kakizaki S, Mori M.	第一内科	Extended therapy duration for therapy-refractory hepatitis C patients with genotype 2.	World J Gastroenterol.
19	Hoshino T, Takagi H, Naganuma A, Koitabashi E, Uehara S, Sakamoto N, Kudo T, Sato K, Kakizaki S.	第一内科	Advanced hepatocellular carcinoma responds to MK615, a compound extract from the Japanese apricot "Prunus mume".	World J Hepatol.
20	Takagi H, Hoshino T, Naganuma A, Koitabashi E, Uehara S, Sakamoto N, Kudo T, Ryusaki K, Kakizaki S, Okamoto H.	第一内科	Drug induced hypersensitivity syndrome by triple therapy of peginterferon alpha2b, ribavirin and telaprevir in patient with double positive for HBV and HCV.	Hepatogastroenterology.
21	Sunaga N, Kaira K, Imai H, Shimizu K, Nakano T, Shames DS, Girard L, Soh J, Sato M, Iwasaki Y, Ishizuka T, Gazdar AF, Minna JD, Mori M.	第一内科	Oncogenic KRAS-induced epiregulin overexpression contributes to aggressive phenotype and is a promising therapeutic target in non-small-cell lung cancer.	Oncogene
22	Nakano S, Gibo J, Fukushima Y, Kaira K, Sunaga N, Taketomi-Takahashi A, Tsushima Y, Mori M.	第一内科	Perfusion evaluation of lung cancer: assessment using dual-input perfusion computed tomography.	J Thorac Imaging
23	Kaira K, Tomizawa Y, Yoshino R, Miura Y, Yoshii A, Iwasaki Y, Koga Y, Ono A, Hisada T, Minato K, Sato K, Kazama T, Ishihara S, Kohyama K, Fueki N, Saito R, Sunaga N.	第一内科	Phase II study of oral S-1 plus cisplatin with bevacizumab for advanced non-squamous non-small cell lung cancer.	Lung Cancer

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
24	Kaira K, Tomizawa Y, Yoshino R, Yoshii A, Matsuura M, Iwasaki Y, Koga Y, Ono A, Nishioka M, Kamide Y, Hisada T, Ishizuka T, Shirai K, Ebara T, Saitoh J, Nakano T, Sunaga N.	第一内科	Phase II study of oral S-1 and cisplatin with concurrent radiotherapy for locally advanced non-small-cell lung cancer.	Lung Cancer
25	Sunaga N, Kaira K, Tomizawa Y, Shimizu K, Imai H, Takahashi G, Kakegawa S, Ohtaki Y, Nagashima T, Kasahara N, Kawashima O, Hisada T, Saito R, Yamada M.	第一内科	Clinicopathological and prognostic significance of interleukin-8 expression and its relationship to KRAS mutation in lung adenocarcinoma.	Br J Cancer
26	Shimizu K, Kaira K, Tomizawa Y, Sunaga N, Kawashima O, Oriuchi N, Tominaga H, Nagamori S, Kanai Y, Yamada M, Oyama T, Takeyoshi I.	第一内科	ASC amino-acid transporter 2 (ASCT2) as a novel prognostic marker in non-small cell lung cancer.	Br J Cancer
27	Ohshima Y, Hanaoka H, Tominaga H, Kanai Y, Kaira K, Yamaguchi A, Nagamori S, Oriuchi N, Tsushima Y, Endo K, Ishioka NS.	第一内科	Biological evaluation of 3-[(18)F]fluoro-alpha-methyl-D-tyrosine (D-[(18)F]FAMT) as a novel amino acid tracer for positron emission tomography.	Ann Nucl Med
28	Suzuki S, Kaira K, Ohshima Y, Ishioka NS, Sohda M, Yokobori T, Miyazaki T, Oriuchi N, Tominaga H, Kanai Y, Tsukamoto N, Asao T, Tsushima Y, Higuchi T, Oyama T, Kuwano H.	第一内科	Biological significance of fluorine-18-alpha-methyltyrosine (FAMT) uptake on PET in patients with oesophageal cancer.	Br J Cancer
29	Kasama S, Toyama T, Iwasaki T, Sumino H, Kumakura H, Minami K, Ichikawa S, Matsumoto N, Nakata T, Kurabayashi M.	第二内科	Evaluation of cardiac sympathetic nerve activity and aldosterone suppression in patients with acute decompensated heart failure on treatment containing intravenous atrial natriuretic peptide.	Eur J Nucl Med Mol Imaging
30	Kurabayashi M	第二内科	Hydrogen sulfide: a new regulator of osteoclastogenesis?	Arterioscler Thromb Vasc Biol.
31	Okumura W, Nakajima M, Taten R, Fukuda N, Kurabayashi M.	第二内科	Three cases of vasospastic angina that developed following the initiation of corticosteroid therapy.	Intern Med
32	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Suzuki F, Ota M, Iijima T, Tamura M, Iizuka T, Tamura S, Saito A, Kurabayashi M	第二内科	Successful ablation of atypical atrioventricular nodal reentrant tachycardia from a noncoronary sinus of Valsalva.	Int Heart J.
33	Harada N, Hatori T, Imai K, Kitahara Y, Sakurai S, Kurabayashi M	第二内科	Myocarditis, hepatitis, and pancreatitis in a patient with coxsackievirus A4 infection: a case report.	Virol J.
34	Ohyama Y, Imai M, Kurabayashi M	第二内科	Estimated glomerular filtration rate and proteinuria are separately and independently associated with the prevalence of atrial fibrillation in general population.	PLoS One
35	Iizuka T, Kaneko Y, Nakajima T, Kurabayashi M.	第二内科	Regular ventricular pacing inhibition due to electronic artifact emitted by pulse generator equipped with a self-adjusting sensitivity function.	Heart Rhythm.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
36	Irie T, Kaneko Y, Nakajima T, Ota M, Iijima T, Tamura M, Iizuka T, Tamura S, Saito A, Kurabayashi M	第二内科	Electroanatomically estimated length of slow pathway in atrioventricular nodal reentrant tachycardia.	Heart Vessels. 2013
37	Sunaga H, Matsui H, Ueno M, Maeno T, Iso T, Syamsunarno MR, Anjo S, Matsuzaka T, Shimano H, Yokoyama T, Kurabayashi M.	第二内科	Deranged fatty acid composition causes pulmonary fibrosis in Elovl6-deficient mice.	Nat Commun
38	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Kurabayashi M.	第二内科	Brugada-type ST-elevation associated with writhing of a reconstructed esophagus.	Intern Med.
39	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Igawa O, Iijima T, Ota M, Tamura M, Iizuka T, Tamura S, Saito A, Kurabayashi M.	第二内科	Pseudo-postpacing interval of diastolic potential after entrainment pacing of remote bystander pathway in reentrant ventricular tachycardia.	Heart Vessels. 2013
40	Kasama S, Toyama T, Iwasaki T, Sumino H, Kumakura H, Minami K, Ichikawa S, Matsumoto N, Sato Y, Kurabayashi M	第二内科	Effects of oral nicorandil therapy on sympathetic nerve activity and cardiac events in patients with chronic heart failure: subanalysis of our previous report using propensity score matching.	Eur J Nucl Med Mol Imaging
41	Obokata M, Negishi K, Kurosawa K, Arima H, Tateno R, Ui G, Tange S, Arai M, Kurabayashi M.	第二内科	Incremental diagnostic value of I _a strain with leg lifts in heart failure with preserved ejection fraction.	JACC Cardiovasc Imaging
42	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Ota M, Iijima T, Tamura M, Iizuka T, Tamura S, Kurabayashi M	第二内科	Mechanism of shorter postpacing interval than the tachycardia cycle after high-output entrainment pacing of atrial flutter.	J Cardiovasc Electrophysiol
43	Kageyama A, Matsui H, Ohta M, Sambuichi K, Kawano H, Notsu T, Imada K, Yokoyama T, Kurabayashi M.	第二内科	Palmitic acid induces osteoblastic differentiation in vascular smooth muscle cells through ACSL3 and NF- κ B, novel targets of eicosapentaenoic acid.	PLoS One
44	Kasama S, Toyama T, Sumino H, Kumakura H, Takayama Y, Minami K, Ichikawa S, Matsumoto N, Sato Y, Kurabayashi M	第二内科	Effects of mineralocorticoid receptor antagonist spironolactone on cardiac sympathetic nerve activity and prognosis in patients with chronic heart failure.	Int J Cardiol.
45	Nohara R, Daida H, Hata M, Kaku K, Kawamori R, Kishimoto J, Kurabayashi M, Masuda I, Sakuma I, Yamazaki T, Yokoi H, Yoshida M; Justification For Atherosclerosis Regression Treatment (JART) Investigators	第二内科	Effect of long-term intensive lipid-lowering therapy with rosuvastatin on progression of carotid intima-media thickness--Justification for Atherosclerosis Regression Treatment (JART) extension study.	Circ J.
46	Yamazaki T, Nohara R, Daida H, Hata M, Kaku K, Kawamori R, Kishimoto J, Kurabayashi M, Masuda I, Sakuma I, Yokoi H, Yoshida M; Justification for Atherosclerosis Regression Treatment (JART) Investigators.	第二内科	Intensive lipid-lowering therapy for slowing progression as well as inducing regression of atherosclerosis in Japanese patients: subanalysis of the JART study.	Int Heart J.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
47	Shimizu H, Handa H, Hatsumi N, Takada S, Saitoh T, Sakura T, Miyawaki S, Nojima Y.	第三内科	Distinctive disease subgroups according to differentiation stages in adult patients with T-cell acute lymphoblastic leukemia.	Eur J Haematol
48	Takahashi S, Hiromura K, Tsukida M, Ohishi Y, Hamatani H, Sakurai N, Sakairi T, Ikeuchi H, Kaneko Y, Maeshima A, Kuroiwa T, Yokoo H, Aoki T, Nagata M, Nojima Y.	第三内科	Nephrotic syndrome caused by immune-mediated acquired LCAT deficiency.	J Am Soc Nephrol.
49	Takahashi S, Tomioka M, Hiromura K, Sakairi T, Hamatani H, Watanabe M, Ikeuchi H, Kaneko Y, Maeshima A, Aoki T, Ohnishi H, Matozaki T, Nojima Y.	第三内科	SIRPalpha signaling regulates podocyte structure and function.	Am J Physiol Renal Physiol
50	Shimizu H, Saitoh T, Hatsumi N, Takada S, Handa H, Jimbo T, Sakura T, Miyawaki S, Nojima Y	第三内科	Prevalence of extramedullary relapses is higher after allogeneic stem cell transplantation than after chemotherapy in adult patients with acute myeloid leukemia.	Leuk Res.
51	Alkebsi L, Handa H, Sasaki Y, Osaki Y, Yanagisawa K, Ogawa Y, Yokohama A, Hattori H, Koiso H, Saitoh T, Mitsui T, Tsukamoto N, Nojima Y, Murakami H	第三内科	DNMT3B7 expression related to MENT expression and its promoter methylation in human lymphomas.	Leuk Res.
52	Osaki Y, Yokohama A, Saito A, Tahara K, Yanagisawa K, Ogawa Y, Ishizaki T, Mitsui T, Koiso H, Takizawa M, Uchiumi H, Saitoh T, Handa H, Murakami H, Tsukamoto N, Nojima Y.	第三内科	Characterization of CD56+ dendritic-like cells: a normal counterpart of blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm?	PLoS One.
53	Hashimoto Y, Yokohama A, Saitoh A, Nakahashi H, Toyama K, Mitsui T, Koiso H, Saitoh T, Handa H, Uchiumi H, Jinbo T, Murayama K, Matsumoto M, Sawamura M, Karasawa M, Murakami H, Hirato J, Nojima Y, Kojima M, Tsukamoto N.	第三内科	Prognostic importance of the soluble form of IL-2 receptor alpha (sIL-2R alpha) and its relationship with surface expression of IL-2R alpha (CD25) of lymphoma cells in diffuse large B-cell lymphoma treated with CHOP-like regimen with or without rituximab: a retrospective analysis of 338 cases.	J Clin Exp Hematop
54	Ozaki S, Harada T, Saitoh T, Shimazaki C, Itagaki M, Asaoku H, Kuroda Y, Chou T, Yoshiki Y, Suzuki K, Murakami H, Hayashi K, Mina R, Palumbo A, Shimizu K	第三内科	Survival of multiple myeloma patients aged 65-70 years in the era of novel agents and autologous stem cell transplantation. A multicenter retrospective collaborative study of the Japanese Society of Myeloma and the European Myeloma Network	Acta Haematol
55	Okuyama N, Sperr WR, Kadar K, Bakker S, Szombath G, Handa H, Tamura H, Kondo A, Valent P, Várkonyi J, van de Loosdrecht A, Ogata K	第三内科	Prognosis of acute myeloid leukemia transformed from myelodysplastic syndromes: a multicenter retrospective study	Leuk Res.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
56	Takahashi N, Miura M, Kuroki J, Mitani K, Kitabayashi A, Sasaki O, Kimura H, Imai K, Tsukamoto N, Noji H, Kondo T, Motegi M, Kato Y, Mita M, Saito H, Yoshida C, Torimoto Y, Kimura T, Wano Y, Nomura J, Yamamoto S, Mayama K, Honma R, Sugawara T, Sato S, Shinagawa A, Abumiya M, Niioka T, Harigae H, Sawada	第三内科	Multicenter phase II clinical trial of nilotinib for patients with imatinib-resistant or -intolerant chronic myeloid leukemia from the East Japan CML study group evaluation of molecular response and the efficacy and safety of nilotinib.	Biomark Res
57	Furuta N, Makioka K, Fujita Y, Ikeda M, Takatama M, Maitsuoka M, Okamoto K.	神経内科	Reduced expression of BTBD10 in anterior horn cells with Golgi fragmentation and pTDP-43-positive inclusions in patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis.	Neuropathology. (2013) 33: 397-404.
58	Furuta N, Makioka K, Fujita Y, Fujita Y, Amanuma M, Okamoto K.	神経内科	Changes in the clinical features of amyotrophic lateral sclerosis in rural Japan.	Intern Med. (2013) 52: 1691-1696.
59	Hayashi S, Amari M, Okamoto K.	神経内科	Loss of calretinin- and parvalbumin-immunoreactive axons in anterolateral columns beyond the corticospinal tracts of amyotrophic lateral sclerosis spinal cords.	J Neurol Sci. (2013) 331: 61-66.
60	Ikeda M, Yonemura K, Kakuda S, Fujita Y, Tashiro Y, Hashimoto Y, Ishiguro K, Tsukie T, Kuwano R, Yamazaki T, Takatama M, Amari M, Harigaya Y, Okamoto K.	神経内科	Cerebrospinal fluid levels of phosphorylated tau and A beta 1-38/A beta 1-40/A beta 1-42 in Alzheimer's disease with PS1 mutations.	Amyloid. (2013) 20:107-112.
61	Makioka K, Yamazaki T, Takatama M, Ikeda M, Okamoto K.	神経内科	Immunolocalization of Smurf1 in Hirano bodies.	J Neurol Sci. (2014) 336: 24-28.
62	Miyashita A, Koike A, Jun G, Wang L-S, Takahashi S, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji	神経内科	SORL1 Is Genetically Associated with Late-Onset Alzheimer's Disease in Japanese, Koreans and Caucasians.	2013;8(4):e58618.
63	Sakurai A, Makioka K, Fukuda T, Takatama M, Okamoto K.	神経内科	Accumulation of phosphorylated TDP-43 in the CNS of a patient with Cockayne syndrome.	Neuropathology. (2013) 33: 673-677
64	Altan B, Yokobori T, Mochiki E, Ohno T, Ogata K, Ogawa A, Yanai M, Kobayashi T, Luvsandagva B, Asao T, Kuwano H	第一外科	Nuclear karyopherin-alpha 2 expression in primary lesions and metastatic lymph nodes was associated with poor prognosis and progression in gastric cancer.	Carcinogenesis. 34(10): 2314-21
65	Ando H, Shitara Y, Mogami Y, Kobayashi T, Yajima T, Tani M, Morinaga N, Ishizaki M, Hashimoto S, Nakabayashi T, Kuwano H	第一外科	A long-term survival case of rectal cancer with multiple pulmonary metastases treated with multidisciplinary chemotherapy.	Int Surg. 98(4): 311-4
66	Asao T, Tsutsumi S, Yamaguchi S, Fujii T, Mochiki E, Kuwano H	第一外科	Bowline knot using monofilament suture eliminates C-Loop formation in intracorporeal ligation.	Surg Today. 43(9): 1075-8
67	Asao T, Yazawa S, Nishimura T, Hayashi T, Shimaoka H, Saniabadi AR, Kuwano H	第一外科	Development of a novel system for mass spectrometric analysis of cancer-associated fucosylation in plasma alpha 1-acid glycoprotein.	Biomed Res Int. 2013: 834790. doi: 10.1155/2013/834790
68	Endoh H, Yamamoto R, Satoh Y, Kuwano H, Nishizawa N	第一外科	Risk analysis of pulmonary resection for elderly patients with lung cancer.	Surg Today. 43(5): 514-20

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
69	Fujii T, Sutoh T, Morita H, Kato T, Yajima R, Araki K, Sasaki S, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Suzuki H, Asao T, Kuwano H	第一外科	Synchronous colorectal liver metastasis without node metastasis: Possibility of localized metastasis.	Hepatogastroenterology. 60(126): 1348-50
70	Fujii T, Yajima R, Tabe Y, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科	Elevated C-reactive protein is associated with the tumor depth of invasion but not with disease recurrence in stage II and III colorectal cancer.	Hepatogastroenterology. 60(126): 1343-7
71	Fujisawa T, Hirakata T, Yanagita Y, Iijima M, Horikoshi H, Takeuchi K, Saitoh Y	第一外科	The detection of pCR after PST by contrast-enhanced ultrasonography for breast cancer.	Breast Cancer. 20(1): 75-82
72	Fukuchi M, Ishibashi K, Tajima Y, Okada N, Yokoyama M, Chika N, Hatano S, Matsuzawa T, Kumamoto K, Kumagai Y, Baba H, Mochiki E, Ishida H	第一外科	Oxaliplatin-based Chemotherapy in Patients Aged 75 Years or Older with Metastatic Colorectal Cancer.	Anticancer Res. 33(10): 4627-30
73	Fukuchi M, Kuwabara K, Tsuji Y, Baba H, Ishibashi K, Chika N, Hatano S, Matsuzawa T, Kumamoto K, Kumagai Y, Mochiki E, Ishida H	第一外科	C-Reactive Protein Is a Negative Independent Factor in Patients with Stage IV Colorectal Cancer Undergoing Oxaliplatin-based Chemotherapy.	Anticancer Res. 33(11): 5051-5
74	Inose T, Miyazaki T, Suzuki S, Tanaka N, Sakai M, Sano A, Yokobori T, Sohda M, Nakajima M, Fukuchi M, Kato H, Kuwano H	第一外科	Surgical treatment for nonspecific esophageal motility disorders.	Surg Today. 43(8): 877-82
75	Iwata H, Masuda N, Sagara Y, Kinoshita T, Nakamura S, Yanagita Y, Nishimura R, Iwase H, Kamigaki S, Takei H, Tsuda H, Hayashi N, Noguchi S	第一外科	Analysis of Ki-67 expression with neoadjuvant anastrozole or tamoxifen in patients receiving goserelin for premenopausal breast cancer.	Cancer. 119: 704-13
76	Kato H, Nakajima M	第一外科	Treatments for esophageal cancer: a review.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.
77	Kigure W, Fujii T, Sutoh T, Morita H, Kato T, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科	The Association of VEGF-C Expression with Tumor Lymphatic Vessel Density and Lymph Node Metastasis in Patients with Gastric Cancer and Gastrointestinal Stromal Tumor.	Hepatogastroenterology. 60(122): 277-80
78	Miyazaki T, Inose T, Tanaka N, Yokobori T, Suzuki S, Ozawa D, Sohda M, Nakajima M, Fukuchi M, Kato H, Kuwano H	第一外科	Management of Barrett's esophageal carcinoma.	Surg Today. 43(4): 353-60
79	Miyazaki T, Sohda M, Tanaka N, Suzuki S, Ieta K, Sakai M, Sano A, Yokobori T, Inose T, Nakajima M, Fukuchi M, Ojima H, Kato H, Kuwano H	第一外科	Phase I dose-escalation study of docetaxel, nedaplatin, and 5-fluorouracil combination chemotherapy in patients with advanced esophageal cancer.	Cancer Chemother Pharmacol. 71(4): 853-7
80	Miyazaki T, Tanaka N, Sano A, Suzuki S, Sakai M, Yokobori T, Inose T, Sohda M, Nakajima M, Fukuchi M, Ojima H, Kato H, Kuwano H	第一外科	Clinical Significance of Total Colonoscopy for Screening of Colon Lesions in Patients with Esophageal Cancer.	Anticancer Res. 33(11): 5113-7
81	Mogi A, Hirato J, Kosaka T, Yamaki E, Kuwano H	第一外科	Benign metastasizing leiomyoma of the lung: report of a case.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 61(12): 719-22

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
82	Morita H, Mochiki E, Takahashi N, Kawamura K, Watanabe A, Sutou T, Ogawa A, Yanai M, Ogata K, Fujii T, Ohno T, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科	Effects of 5-HT _{2B} , 5-HT ₃ and 5-HT ₄ receptor antagonists on gastrointestinal motor activity in dogs.	World J Gastroenterol. 19(39): 6604-12
83	Nakabayashi T, Mochiki E, Kamiyama Y, Kato H, Kuwano H	第一外科	Impact of gastropyloric motor activity on the genesis of reflux esophagitis after an esophagectomy with gastric tube reconstruction.	Ann Thorac Surg. 96(5): 1833-8
84	Nakajima M, Kato H	第一外科	Treatment options for esophageal squamous cell carcinoma.	Expert Opin Pharmacother. 14(10): 1345-54
85	Ogiso S, Conrad C, Araki K, Basso V, Gayet B	第一外科	Posterior Approach for Laparoscopic Pancreaticoduodenectomy to Prevent Replaced Hepatic Artery Injury.	Ann Surg Oncol. 20(9): 3120
86	Saito K, Osawa H, Morohara K, Nakamura K, Kimura S, Okada A, Sakai M, Wada W, Yasuda N, Suzuki Y, Kuwano H	第一外科	Laparoscopy-assisted resection of ileocecal intussusception caused by ileal pedunculated lipoma.	Int Surg. 98(4): 330-3
87	Sano A, Sakurai S, Kato H, Suzuki S, Yokobori T, Sakai M, Tanaka N, Inose T, Sohda M, Nakajima M, Fukai Y, Miyazaki T, Ojima H, Hosoya Y, Enomoto T, Kanda T, Ajioka Y, Kuwano H	第一外科	Expression of receptor tyrosine kinases in esophageal carcinosarcoma.	Oncol Rep. 29(6): 2119-26
88	Suzuki H, Hosouchi Y, Sasaki S, Araki K, Kubo N, Watanabe A, Kuwano H	第一外科	Reconstruction of the hepatic artery with the middle colic artery is feasible in distal pancreatectomy with celiac axis resection: A case report.	World J Gastrointest Surg. 5(7): 224-8
89	Takahashi M, Nakajima M, Ogata H, Domeki Y, Ohtsuka K, Ihara K, Kurayama E, Yamaguchi S, Sasaki K, Miyachi K, Kato H	第一外科	CD24 Expression is Associated with Progression of Gastric Cancer.	Hepatogastroenterology. 60(124): 653-8
90	Tomizawa K, Ito S, Suda K, Fukui T, Usami N, Hatooka S, Kuwano H, Yatabe Y, Mitsudomi T	第一外科	Solitary pulmonary metastasis from lung cancer harboring EML4-ALK after a 15-year disease-free interval.	Lung Cancer. 80(1): 99-101
91	Toyomasu Y, Shimabukuro R, Moriyama H, Eguchi D, Ishikawa K, Kishihara F, Fukuyama Y, Matsumata T, Mochiki E, Kuwano H	第一外科	Successful perioperative management of a patient with idiopathic thrombocytopenic purpura undergoing emergent appendectomy: Report of a case.	Int J Surg Case Rep. 4(10): 898-900
92	Wada S, Harris TJ, Tryggestad E, Yoshimura K, Zeng J, Yen HR, Getnet D, Grosso JF, Bruno TC, De Marzo AM, Netto GJ, Pardoll DM, Dewese TL, Wong J, Drake CG	第一外科	Combined treatment effects of radiation and immunotherapy: studies in an autochthonous prostate cancer model.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 87(4): 769-76
93	Wada S, Jackson CM, Yoshimura K, Yen HR, Getnet D, Harris TJ, Goldberg MV, Bruno TC, Grosso JF, Durham N, Netto GJ, Pardoll DM, Drake CG	第一外科	Sequencing CTLA-4 blockade with cell-based immunotherapy for prostate cancer.	J Transl Med. 11: 89

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
94	Watanabe A, Suzuki H, Kubo N, Araki K, Kobayashi T, Sasaki S, Wada W, Arai H, Sakamoto K, Sakurai S, Kuwano H	第一外科	An Oncocytic Variant of Intraductal Papillary Neoplasm of the Bile Duct that Formed a Giant Hepatic Cyst.	Rare Tumors. 5(3): e30
95	Watanabe A, Suzuki H, Kubo N, Kobayashi T, Araki K, Sasaki S, Shimura T, Oyama T, Kuwano H	第一外科	A case of mesenteric cystic lymphangioma in an adult which caused duodenal stenosis after resection.	Int J Surg Case Rep. 4(2): 212-5
96	Watanabe A, Suzuki H, Yokobori T, Altan B, Kubo N, Araki K, Wada S, Mochida Y, Sasaki S, Kashiwabara K, Hosouchi Y, Kuwano H	第一外科	Forkhead box protein C2 contributes to invasion and metastasis of extrahepatic cholangiocarcinoma, resulting in a poor prognosis.	Cancer Sci. 104(11): 1427-32
97	Yajima T, Onozato R, Shitara Y, Mogi A, Tanaka S, Kuwano H	第一外科	Relapsed cervicomedial lymph node carcinoma with an unknown primary site treated with TS-1 alone: a case report.	BMC Res Notes. 6(1): 558
98	Yamaguchi S, Tsutsumi S, Fujii T, Morita H, Suto T, Nakajima M, Kato H, Asao T, Kuwano H	第一外科	Prophylactic and informational abdominal drainage is not necessary after colectomy and suprapromontory anastomosis.	Int Surg. 98(4): 307-10
99	Yamaki S, Fujii T, Yajima R, Hirakata T, Yamaguchi S, Fujisawa T, Tsutsumi S, Asao T, Yanagita Y, Iijima M, Kuwano H	第一外科	Clinicopathological significance of decreased galectin-3 expression and the long-term prognosis in patients with breast cancer.	Surg Today. 43(8): 901-5
100	Yanai M, Mochiki E, Ogawa A, Morita H, Toyomasu Y, Ogata K, Tabe Y, Ando H, Ohno T, Asao T, Aomori T, Fujita Y, Kuwano H	第一外科	Intragastric administration of rikkunshito stimulates upper gastrointestinal motility and gastric emptying in conscious dogs.	J Gastroenterol. 48(5): 611-9
101	Yazawa T, Shibata M, Gonda K, Machida T, Suzuki S, Kenjo A, Nakamura I, Tsuchiya T, Koyama Y, Sakurai K, Shimura T, Tomita R, Ohto H, Gotoh M, Takenoshita S	第一外科	Increased IL-17 production correlates with both immunosuppression involving MDSC and nutritional impairment in patients with various gastrointestinal cancers.	Molecular and Clinical Oncology. 1: 675-9
102	Yokobori T, Iinuma H, Shimamura T, Imoto S, Sugimachi K, Ishii H, Iwatsuki M, Ota D, Ohkuma M, Iwaya T, Nishida N, Kogo R, Sudo T, Tanaka F, Shibata K, Toh H, Sato T, Barnard GF, Fukagawa T, Yamamoto S, Nakanishi H, Sasaki S, Miyano S, Watanabe T, Kuwano H, Minori K, Pantel K, Mori M	第一外科	Plastin3 is a novel marker for circulating tumor cells undergoing the epithelial-mesenchymal transition and is associated with colorectal cancer prognosis.	Cancer-Res. 73(7): 2059-69
103	Kosaka T, Yamaki E, Mogi A, Kuwano H	第一外科	A case of lung adenocarcinoma with postoperative recurrence of multiple bone metastases that showed a gradual complete response to combined administration of erlotinib and zoledronic acid.	Tumori. 100(2):e45-8
104	Yamauchi H, Sakurai S, Tsukagoshi R, Suzuki M, Tabe Y, Fukasawa T, Kiriyama S, Fukuchi M, Naitoh	第一外科	A case of very well-differentiated adenocarcinoma with carcinoid tumor in the ascending colon.	Int Surg. 99(2):132-6

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
105	Yazawa S, Yokobori T, Ueta G, Ide M, Altan B, Thongprachum A, Nishimura T, Nakajima T, Kominato Y, Asao T, Saniabadi AR, Furukawa K, Kuwano H, Le Pendu J, Ushijima H	第一外科	Blood group substances as potential therapeutic agents for the prevention and treatment of infection with noroviruses proving novel binding patterns in human tissues.	PLoS One. 18;9(2):e89071
106	Suzuki M, Fukuchi M, Sakurai S, Naitoh H, Kiriyaama S, Fukasawa T, Tabe Y, Yamauchi H, Yoshida T, Kuwano H	第一外科	Retroperitoneal liposarcoma with leiomyosarcomatous differentiation.	Int Surg. 99(1):48-51
107	Fujii T, Morita H, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科	A rare case of granular cell tumor of the anal region: diagnostic difficulty to masses in the anal area.	Int Surg. 99(1):45-7
108	Hirakata T, Yanagita Y, Fujisawa T, Fujii T, Kinoshita T, Horikoshi H, Oya N, Akiyoshi T, Iijima M, Miyamoto T, Kuwano H	第一外科	Early predictive value of non-response to docetaxel in neoadjuvant chemotherapy in breast cancer using 18F-FDG-PET.	Anticancer Res. 34(1):221-6
109	Araki K, Conrad C, Ogiso S, Kuwano H, Gayet B	第一外科	Intraoperative ultrasonography of laparoscopic hepatectomy: key technique for safe liver transection.	J Am Coll Surg. 218(2):e37-41
110	Yokobori T, Yokoyama Y, Mogi A, Endoh H, Altan B, Kosaka T, Yamaki E, Yajima T, Tomizawa K, Azuma Y, Onozato R, Miyazaki T, Tanaka S, Kuwano H	第一外科	FBXW7 mediates chemotherapeutic sensitivity and prognosis in NSCLCs.	Mol Cancer Res. 12(1):32-7
111	Kuwano H, Tsuchiya T, Murayama T, Sano A, Nagayama K, Yoshida Y, Murakawa T, Nakajima J	第一外科	Outcomes of combined modality therapy for patients with stage III or IV mediastinal malignant germ cell tumors.	Surg Today. 44(3):499-504
112	Sawada Y, Komori H, Tsunoda Y, Shimomura M, Takahashi M, Baba H, Ito M, Saito N, Kuwano H, Endo I, Nishimura Y, Nakatsura T	第一外科	Identification of HLA-A2 or HLA-A24-restricted CTL epitopes for potential HSP105-targeted immunotherapy in colorectal cancer.	Oncol Rep. 31(3):1051-8
113	Fujii T, Yajima R, Hirakata T, Miyamoto T, Fujisawa T, Tsutsumi S, Yanagita Y, Iijima M, Kuwano H	第一外科	Impact of the prognostic value of vascular invasion, but not lymphatic invasion, of the primary tumor in patients with breast cancer.	Anticancer Res. 34(3):1255-9
114	Kiriyaama S, Naitoh H, Fukuchi M, Fukasawa T, Saito K, Tabe Y, Yamauchi H, Yoshida T, Kuwano H	第一外科	Evaluation of Pharyngeal Function between No Bolus and Bolus Propofol Induced Sedation for Advanced Upper Endoscopy.	Diagn Ther Endosc. 2014;2014:248097
115	Yashima H., Shimizu K., Araki T., Aomori T., Ohtaki Y., Nagashima T., Enokida Y., Atsumi J., Nakamura T., Takeyoshi I. and Yamamoto K.	第二外科	Assessment of DDR2, BRAF, EGFR and KRAS mutations as therapeutic targets in non-adenocarcinoma lung cancer patients	Mol Clin Oncol
116	Shimizu K., Nagashima T., Ohtaki Y. and Takeyoshi I.	第二外科	Novel repair of a defect in the cervical trachea with a thymus pedicle flap	J Thorac Cardiovasc Surg
117	Nakazawa S., Mohara J., Takahashi T., Koike N. and Takeyoshi I.	第二外科	Aortocaval Fistula Associated with Ruptured Abdominal Aortic Aneurysm	Ann Vasc Surg

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
118	Higuchi T., Gohno T., Nagatomo T., Tokiniwa H., Niwa T., Horiguchi J., Oyama T., Takeyoshi I. and Hayashi S.	第二外科	Variation in Use of Estrogen Receptor- α Gene Promoters in Breast Cancer Compared by Quantification of Promoter-Specific Messenger RNA	Clin Breast Cancer
119	Yamashita S., Miyaoka T., Nagahama M., Jeda M., Tsuchie K., Wake R. and Horiguchi J.	第二外科	Treatment of Paroxysmal Perceptual Alteration in Catatonic Schizophrenia by Switching to Aripiprazole from Risperidone	Clin Schizophr Relat Psychoses
120	Tozuka K., Horiguchi J., Takata D., Rokutanda N., Nagaoka R., Tokiniwa H., Kikuchi M., Satou A., Takei H. and Takeyoshi I.	第二外科	Collagen gel droplet-embedded culture-drug sensitivity test and Ki67 expression in estrogen receptor-positive and HER2-negative breast cancer	Mol Clin Oncol
121	Tanaka K., Shimizu K., Ohtaki Y., Nakano T., Kamiyoshihara M., Kaira K., Rokutanda N., Horiguchi J., Oyama T. and Takeyoshi I.	第二外科	Diagnosis and surgical resection of solitary pulmonary nodules in patients with breast cancer	Mol Clin Oncol
122	Kamiyoshihara M., Igai H., Ibe T., Ohtaki Y., Atsumi J., Nakazawa S., Tanaka K., Obayashi K., Shimizu K. and Takeyoshi I.	第二外科	Pulmonary lobar root clamping and stapling technique: return of the "en masse lobectomy"	Gen Thorac Cardiovasc Surg
123	Kamiyoshihara M., Igai H., Ibe T., Kawatani N., Ohtaki Y., Shimizu K. and Takeyoshi I.	第二外科	Right superior mediastinal lymph node dissection in thoracoscopic surgery using a bipolar sealing device	Innovations (Phila)
124	Kamiyoshihara M., Ibe T., Igai H., Kawatani N., Hayashi H., Shimizu K. and Takeyoshi I.	第二外科	Profuse Mediastinal Hemorrhage due to Mediastinitis after a Sternal Infection	Ann Thorac Cardiovasc Surg
125	Igai H., Kamiyoshihara M., Nagashima T. and Shimizu K.	第二外科	Anatomical segmentectomy for pneumothorax associated with congenital bronchial atresia	Eur J Cardiothorac Surg
126	Igai H., Kamiyoshihara M., Nagashima T., Ohtaki Y. and Shimizu K.	第二外科	A new application of a wound retractor for chest wall surgery	Gen Thorac Cardiovasc Surg
127	Hirai K., Yoshinari D., Ogawa H., Nakazawa S., Takase Y., Tanaka K., Miyamae Y., Takahashi N., Tsukagoshi H., Toya H., Totsuka O., Sunose Y. and Takeyoshi I.	第二外科	Three-dimensional computed tomography for analyzing the vascular anatomy in laparoscopic surgery for right-sided colon cancer	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech
128	Enokida Y., Shimizu K., Atsumi J., Lezhava A., Tanaka Y., Kimura Y., Soma T., Hanami T., Kawai Y., Usui K., Okano Y., Kakegawa S., Ogawa H., Miyamae Y., Miyagi Y., Nakayama H., Ishikawa T., Hayashizaki Y. and Takeyoshi I.	第二外科	Rapid detection of SNP (c.309T>G) in the MDM2 gene by the Duplex SmartAmp method	PLoS One
129	Atsumi J., Shimizu K., Nakano T., Kakegawa S., Sano T., Katano M., Hiroshima K. and Takeyoshi I.	第二外科	A peculiar squamous dysplastic lesion presenting as a ground-glass opacity: a case report	Eur Respir J

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
130	Arai S, Shibata Y, Nakamura Y, Kashiwagi B, Uei T, Tomaru Y, Miyashiro Y, Honma S, Hashimoto K, Sekine Y, Ito K, Sasano H and Suzuki K.	泌尿器科	Development of prostate cancer in a patient with primary hypogonadism : intratumoural steroidogenesis in prostate cancer tissue.	Andrology 1(1):169-174
131	Ito K, Miyakubo M, Sekine Y, Koike H, Matsui H, Shibata Y and Suzuki K.	泌尿器科	Diagnostic significance of [-2]pro-PSA and prostate dimension-adjusted PSA-related indices in men with total PSA in the 2.0-10.0ng/ml range.	World J Urol 31(2):305-311
132	Shibata Y, Suzuki K, Arai S, Miyoshi Y, Umemoto S, Masumori N, Kamiya N, Ichikawa T, Kitagawa Y, Mizokami A, Sugimura Y, Nonomura N, Sakai H, Honma S and Kubata Y.	泌尿器科	Impact of pre-treatment prostate tissue androgen content on the prediction of castration-resistant prostate cancer development in patients treated with primary androgen deprivation therapy.	Andrology 1(3):505-511
133	Syuto, T, Hatori M, Nomura M, Sekine Y and Suzuki K.	泌尿器科	Chronic expanding hematoma in the retroperitoneal space:a case report	BMC Urology 13:60
134	Hirono M, Kobayashi Y, Tsushima T, Obara W, Shinohara N, Ito K, Eto M, Takayama T, Fujii Y, Nishikido M, Kimura G, Kishida T, Takahashi M, Miyao N, Naya Y, Abe T, Fujioka T, Ito K, Naito S and Members of the Japanese Society of Renal Cancer	泌尿器科	Impact of clinicopathologic and operative factors on short-term and long-term survival in renal cell carcinoma with venous tumor thrombus extension:a multi-institutional retrospective study in Japan.	BMC Cancer 34:447
135	Magari T, Fukabori Y, Ogura H and Suzuki K.	泌尿器科	Lower urinary tract symptoms of neurological origin in urological practice.	Clin Auton Res 23(2):67-72
136	Sawada K, Kitagawa Y, Ito K, Takeda Y, Mizokami A and Namiki M.	泌尿器科	Cumulative risk of developing prostate cancer in men with low ($?2.0\text{ng/ml}$) prostate-specific antigen levels:A population-based screening cohort study in Japan.	Int J Urol 21(6):560-565
137	Hirama H, Sugimoto M, Ito K, Shiraishi T and Kakehi Y.	泌尿器科	The impact of baseline [-2]proPSA-related indices on the prediction of pathological reclassification at 1 year during active	J Cancer Res Clin Oncol 140(2):257-63
138	Ichinose T, Lesmana R, Yamamoto A, Kobayashi T, Shitara H, Shimoyama D, Takatsuru Y, Iwasaki T, Shimokawa N, Takagishi K, Koibuchi N.	整形外科	Possible involvement of IGF-1 signaling on compensatory growth of the infraspinatus muscle induced by the supraspinatus tendon detachment of rat shoulder.	Physiol Rep.
139	Yanagisawa S, Ohsawa T, Saito K, Kobayashi T, Yamamoto A, Takagishi K.	整形外科	Morphological evaluation and diagnosis of medial type osteoarthritis of the knee using ultrasound.	J Orthop Sci.
140	Kakuta Y, Iizuka H, Kobayashi R, Iizuka Y, Takahashi T, Mohara J, Takagishi K.	整形外科	Gorham disease of the lumbar spine with an abdominal aortic aneurysm: a case report.	Spine J.
141	Tajika T, Kobayashi T, Yamamoto A, Kaneko T, Takagishi K.	整形外科	Diagnostic utility of sonography and correlation between sonographic and clinical findings in patients with carpal tunnel syndrome.	J Ultrasound Med.
142	Tajika T, Kobayashi T, Kaneko T, Tsunoda D, Tsunoda K, Sutou T, Yamamoto A, Takagishi K.	整形外科	Epidemiological study for personal risk factors and quality of life related to Dupuytren's disease in a mountain village of Japan.	J Orthop Sci.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
143	Shitara H, Shinozaki T, Takagishi K, Honda M, Hanakawa T.	整形外科	Movement and afferent representations in human motor areas: a simultaneous neuroimaging and transcranial magnetic/peripheral nerve-stimulation study.	Front Hum Neurosci.
144	Nishinome M, Iizuka H, Iizuka Y, Takagishi K.	整形外科	An analysis of the anatomic features of the cervical spine using computed tomography to select safer screw insertion techniques.	Eur Spine J.
145	Yanagisawa S, Sato N, Ohsawa T, Saito K, Shimizu M, Takagishi K.	整形外科	Influence of the anterior-posterior femoral translation on the range of motion in cruciate-retaining total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.
146	Hatayama K, Terauchi M, Saito K, Higuchi H, Yanagisawa S, Takagishi K.	整形外科	The importance of tibial tunnel placement in anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction.	Arthroscopy.
147	Hagiwara K, Shinozaki T, Matsuzaki T, Takata K, Takagishi K.	整形外科	Immunolocalization of water channel aquaporins in human knee articular cartilage with intact and early degenerative regions.	Med Mol Morphol.
148	Iizuka H, Iizuka Y, Kobayashi R, Takechi Y, Nishinome M, Ara T, Sorimachi Y, Nakajima T, Takagishi K.	整形外科	Effect of a reduction of the atlanto-axial angle on the cranio-cervical and subaxial angles following atlanto-axial arthrodesis in rheumatoid arthritis.	Eur Spine J.
149	Koizumi H, Kimura M, Kamimura T, Hagiwara K, Takagishi K.	整形外科	The outcomes after anterior cruciate ligament reconstruction in adolescents with open physes.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.
150	Higuchi H, Kobayashi Y, Kobayashi A, Hatayama K, Kimura M.	整形外科	Histologic analysis of postmeniscectomy osteonecrosis.	Am J Orthop.
151	Ishibuchi H, Shimizu A, Negishi I, Ishikawa O	皮膚科	A perianal erythematous plaque: A quiz.	Acta Derm Venereol 2013, Epub ahead of print
152	Motegi SI, Kato M, Uchiyama A, Yamada K, Shimizu A, Amano H, Ishikawa O	皮膚科	Persistent prurigo nodularis in HIV-infected patient responsive to antiretroviral therapy with raltegravir.	J Dermatol. 41(3): 272-273, 2014
153	Kishi C, Amano H, Shimizu A, Nagai Y, Ishikawa O.	皮膚科	Cutaneous necrosis induced by extravasation of hydroxyzine	Eur J Dermatol. 24(1): 131-132, 2014
154	Shimizu A, Kamiyama Y, Kato M, Hattori T, Motegi SI, Amano H, Ishikawa O.	皮膚科	Alopecia in a patient with Vogt-Koyanagi-Harada disease	J Dermatol. 41(2): 184-185, 2014
155	Amano H, Kishi C, Motegi SI, Aoyama K, Shimizu A, Ishikawa O	皮膚科	Perifollicular elastolysis with atopic dermatitis.	J Dermatol. 41(3): 231-232, 2014
156	Syuto T, Tago O, Kuriyama Y, Ishibuchi T, Sasahira S, Nagai Y, Ishikawa O	皮膚科	An unusual case of erythema elevatum diutinum with penile and laryngeal manifestations	Eur J Dermatol. 24(1): 96-97, 2014
157	Uchiyama A, Motegi SI, Yamada K, Uehara A, Ishikawa O	皮膚科	Case of angioedema and urticaria induced by lenalidomide	J Dermatol. 41(2): 179-181, 2014
158	Motegi SI, Hattori T, Tago O, Shimizu A, Ishikawa O.	皮膚科	Systemic sclerosis associated with silicone breast implantation	Eur J Dermatol. 23(6): 894-895, 2013
159	Motegi SI, Yamada K, Shimizu A, Ishikawa O.	皮膚科	Tumoral calcinosis in systemic sclerosis associated with multicentric Castleman's disease.	J Dermatol. 40(11): 938-939, 2013
160	Motegi SI, Hattori M, Tago O, Nagai Y, Ishikawa O.	皮膚科	Elevated serum levels of TARC/CCL17, eotaxin-3/CCL26 and vascular endothelial growth factor in a patient with non-episodic angioedema associated with eosinophilia and granulomatous cutaneous reaction	Eur J Dermatol. 23(4): 524-526, 2013
161	Motegi SI, Uchiyama A, Ishikawa O	皮膚科	Transient acantholytic dermatosis (Grover's disease) with an isolated eruption.	Eur J Dermatol. 23(3): 424-425, 2013
162	Amano H, Kishi C, Shimizu A, Ishikawa O.	皮膚科	Symmetric lipomatosis of the medial knee: A case report.	Acta Derm Venereol 93(5): 745-746, 2013
163	Motegi SI, Ishikawa O	皮膚科	Peripheral T-cell lymphoma with granulomatous reaction	Eur J Dermatol. 23(1): 119-120, 2013

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
164	Kashima T	眼科	Rebamipide ophthalmic suspension for the treatment of dry eye syndrome: a critical appraisal.	Clin Ophthalmol
165	Itakura H	眼科	Vitreous changes in high myopia observed by swept-source optical coherence tomography.	Invest Ophthalmol Vis Sci.
166	Shinohara Y	眼科	Alteration of choroidal thickness in a case of carotid cavernous fistula: a case report and a review of the literature.	BMC Ophthalmol
167	Itakura H	眼科	Topical rebamipide improves lid wiper epitheliopathy.	Clin Ophthalmol
168	Akiyama H	眼科	Retinal ganglion cell analysis in Leber's hereditary optic neuropathy.	Ophthalmology
169	Itakura H	眼科	Evolution of vitreomacular detachment in healthy subjects.	JAMA Ophthalmol.
170	Sato T	眼科	Modified technique for inducing posterior vitreous detachment through the posterior precortical vitreous pocket during microincision vitreous surgery with a wide-angle viewing system.	Ophthalmologica
171	Akiyama H	眼科	Intravitreal gas injection without vitrectomy for macular detachment associated with an optic disk pit.	Retina.
172	Itakura H	眼科	Observation of posterior precortical vitreous pocket using swept-source optical coherence tomography.	Invest Ophthalmol Vis Sci.
173	Itakura H	眼科	Alterations of posterior precortical vitreous pockets with positional changes.	Retina
174	Tetsuaki Shimada, Hideo Kamada, Ryuu Hoshino, Tomofumi Okamiya, Katsumasa Takahashi, Kazuaki Chikamatsu	耳鼻咽喉科	Development of a New Method Using Narrow Band Imaging for Taste Assessment.	Laryngoscope. 2013 Oct;123(10):2405-10.
175	Murata T, Shino M, Yasuoka Y, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科	Subglottic Schwannoma: a report of a rare case that was treated with medial thyrotomy.	Am J Otolaryngol. 2013 Sep-Oct;34(5):569-73.
176	Chikamatsu K, Ishii H, Murata T, Sakakura K, Shino M, Toyoda M, Takahashi K, Masuyama K.	耳鼻咽喉科	Alteration of cancer stem cell-like phenotype by histone deacetylase inhibitors in squamous cell carcinoma of the head and neck.	Cancer Sci. 2013 Nov;104(11):1468-75.
177	Kayakabe M, Kakizaki T, Kaneko R, Sasaki A, Nakazato Y, Shibasaki K, Ishizaki Y, Saito H, Suzuki N, Furuya N, Yanagawa Y.	耳鼻咽喉科	Motor dysfunction in cerebellar Purkinje cell-specific vesicular GABA transporter knockout mice.	Front Cell Neurosci. 2014 Jan 16;7:286.
178	Sawano Y, Miyazaki M, Shimada H, Kadoi Y	麻酔科蘇生科	Optimal fentanyl dosage for attenuating systemic hemodynamic changes, hormone release and cardiac output changes during the induction of anesthesia in patients with and without hypertension: A prospective, randomized, double-blinded study.	J Anesthesia 2013;27:505-511
179	Kadoi Y, Nishida A, Saito S.	麻酔科蘇生科	Recovery time after sugammadex reversal of rocuronium-induced muscle relaxation for electroconvulsive therapy is independent of cardiac output in both young and elderly patients.	J ECT 2013;29:33-36
180	Kadoi Y, Saito S, Fujita N, Mizutani A.	麻酔科蘇生科	Effects of balloon-induced pulsatile perfusion on postoperative short- and long-term cognitive dysfunction in diabetic patients with impaired cerebrovascular carbon dioxide reactivity.	J Cardiothoracic Vascular Anesthesia 2013;27:238-244
181	Kosugi T, Hamada S, Takigawa C, Shinozaki K, Kunikane H, Goto F, Tanda S, Shima Y, Yomiya K, Matoba M, Adachi I, Yoshimoto T, Eguchi K.	麻酔科蘇生科	A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Study of Fentanyl Buccal Tablets for Breakthrough Pain: Efficacy and Safety in Japanese Cancer Patients.	J Pain Symptom Manage 2013 Oct5.[Epub ahead of print]

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
182	Narahara H, Kadoi Y, Hinohara H, Kunimoto F, Saito S.	麻酔科蘇生科	Comparative effects of flurbiprofen and fentanyl on natural killer cell cytotoxicity, lymphocyte subsets and cytokine concentrations in post-surgical intensive care unit patients: prospective, randomized study.	J Anesth 2013;27:676-683
183	Ogino Y, Kakeda T, Nakamura K, Saito S.	麻酔科蘇生科	Dehydration Enhances Pain-Evoked Activation in the Human Brain Compared with Rehydration.	Anesth Analg 2013 Dec31. [Epub ahead of print]
184	Suto T, Saito S.	麻酔科蘇生科	Considerations for resuscitation at high altitude in elderly and untrained populations and rescuers.	Am J Emerg Med. 2014;32:270-276
185	Suto T, Severino AL, Eisenach JC, Hayashida K.	麻酔科蘇生科	Gabapentin increases extracellular glutamatergic level in the locus coeruleus via astroglial glutamate transporter-dependent mechanisms.	Neuropharmacology. 2014;81:95-100
186	Nakajima K, Koizuka S, Saito S.	麻酔科蘇生科	New method of percutaneous radiofrequency mandibular nerve rhizotomy guided by high-speed real-time computed tomography fluoroscopy with direct approaching view to foramen ovale.	Br J Anaesth 2013;111:299-300.
187	Saito S.	麻酔科蘇生科	Studies on postoperative neurological complications, particularly cognitive dysfunction.	J Anesth 2013;27:647-649
188	Saito H, Nishimura T, Muramatsu K, Koderia H, Kumada S, Sugai K, Kasai-Yoshida E, Sawaura N, Nishida H, Hoshino A, Ryujin F, Yoshioka S, Nishiyama K, Kondo Y, Tsurusaki Y, Nakashima M, Miyake N, Arakawa H, Kato M, Mizushima N, Matsumoto N	小児科	De novo mutations in the autophagy gene WDR45 cause static encephalopathy of childhood with neurodegeneration in adulthood	Nature Genetics. 45(4):445-449. 2013
189	Inuzuka R, Seki M, Sugimoto M, Saiki H, Masutani S, Senzaki H	小児科	Pulmonary arterial wall stiffness and its impact on right ventricular afterload in patients with repaired tetralogy of fallot	Ann Thorac Surg. 96:1435-41. 2013
190	Ishii Y, Inamura N, Kawazu Y, Kayatani F, Arakawa H	小児科	'I-shaped' sign in the upper mediastinum: a novel potential marker for antenatal diagnosis of d-transposition of the great arteries	Ultrasound Obstet Gynecol. 41: 667-671, 2013
191	Yoshida K, Toki T, Okuno Y, Kanazaki R, Shiraishi Y, Sato-Otsubo A, Sanada M, Park MJ, Terui K, Suzuki H, Kon A, Nagata Y, Sato Y, Wang R, Shiba N, Chiba K, Tanaka H, Hama A, Muramatsu H, Hasegawa D, Nakamura K, Kanegane H, Tsukamoto K, Adachi S, Kawakami K, Kato K, Nishimura R, Izraeli S, Hayashi Y, Miyano S, Kojima S, Ito E, Ogawa S	小児科	The landscape of somatic mutations in Down syndrome-related myeloid disorders	Nature Genetics. 45(11):1293-9. 2013
192	Shiraishi Y, Sato Y, Chiba K, Okuno Y, Nagata Y, Yoshida K, Shiba N, Hayashi Y, Kume H, Homma Y, Sanada M, Ogawa S, Miyano S	小児科	An empirical Bayesian workflow for somatic mutation detection from cancer genome sequencing data	Nucleic Acids Res. 41(7):e89. 2013

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
193	Shiba N, Ichikawa H, Taki T, Park MJ, Jo A, Mitani S, Kobayashi T, Shimada A, Sotomatsu M, Arakawa H, Adachi S, Tawa A, Horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, Hayashi Y	小児科	NUP98-NSD1 gene fusion and its related gene expression signature are strongly associated with a poor prognosis in pediatric acute myeloid leukemia	Genes Chromosomes Cancer. 52(7):683-93. 2013
194	Yoshimi A, Kamachi Y, Imai K, Watanabe N, Nakadate H, Kanazawa T, Ozono S, Kobayashi R, Yoshida M, Kobayashi C, Hama A, Muramatsu H, Sasahara Y, Jakob M, Morio T, Ehl S, Manabe A, Niemeyer C, Kojima S	小児科	Wiskott-Aldrich syndrome presenting with a clinical picture mimicking juvenile myelomonocytic leukaemia	Pediatr Blood Cancer. 60(5):836-41. 2013
195	Ohki Y, Maruyama K, Harigaya A, Kohno M, Arakawa H.	小児科	Complications of peripherally inserted central venous catheter in Japanese neonatal intensive care units	Pediatr Int. 55(2):185-9. 2013
196	Kobayashi T, Kobayashi T, Morikawa A, Ikeda K, Seki M, Shimoyama S, Ishii Y, Suzuki T, Nakajima K, Sakamoto N, Arakawa H	小児科	Efficacy of Intravenous Immunoglobulin Combined with Prednisolone Following Resistance to Initial Intravenous Immunoglobulin Treatment of Acute Kawasaki Disease	J Pediatr. 163:521-6. 2013
197	Yoshimoto A, Miyamoto T, Ozaki S, Kobayashi T,	小児科	Flow-adjustable bilateral pulmonary artery banding in the neonatal period for severe congenital heart diseases	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 61:340-344. 2013
198	Minegishi T, Sugino N, Ishihara O, Kitawaki J, Harada T, Murakami T.	産科婦人科	Annual report of Reproductive Endocrinology Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2013	J Obstet Gynaecol Res
199	Imai F, Kishi H, Nakao K, Nishimura T, Minegishi T.	産科婦人科	Interleukin-6 up-regulates the expression of rat luteinizing hormone receptors during granulosa cell differentiation	Endocrinology
200	Takano M, Ochi H, Takei Y, Miyamoto M, Hasumi Y, Kaneta Y, Nakamura K, Kurosaki A, Satoh T, Fujiwara H, Nagao S, Furuya K, Yokota H, Ito K, Minegishi T, Yoshikawa H, Fujiwara K, Suzuki M.	産科婦人科	Surgery for endometrial cancers with suspected cervical involvement: is radical hysterectomy needed (a GOTIC study)?	Br J Cancer
201	Nakao K, Nakamura K, Kiyohara H, Ohno T, Minegishi T.	産科婦人科	Ovarian function preserved by carbon-ion radiotherapy for alveolar soft-part sarcoma.	Int J Gynaecol Obstet
202	Kitahara Y, Nakamura K, Kogure K, Minegishi T.	産科婦人科	Role of microRNA-136-3p on the expression of luteinizing hormone-human chorionic gonadotropin receptor mRNA in rat ovaries.	Biol Reprod
203	Abe Y, Marukawa R, Tsuru N, Sato M, Matsuda H, Sadakata H, Kameda T, Minegishi T.	産科婦人科	Gram-negative bacterial lipopolysaccharide stimulates activin a secretion from human amniotic epithelial cells.	Int J Endocrinol
204	Matzkin ME, Yamashita S, Ascoli M.	産科婦人科	The ERK1/2 pathway regulates testosterone synthesis by coordinately regulating the expression of steroidogenic genes in Leydig cells.	Mol Cell Endocrinol
205	Ohno T	放射線科	Particle radiotherapy with carbon ion beams	The EPMA Journal
206	Ohno T	放射線科	Radiotherapy concurrently with weekly cisplatin, followed by adjuvant chemotherapy, for N2-3 nasopharyngeal cancer: a multicenter trial of the Forum for Nuclear Cooperation in Asia.	J Radiat Res.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
207	Oike T	放射線科	Comparison of hematological toxicities between innovator and generic cisplatin formulations in cervical cancer patients treated with concurrent chemoradiotherapy	J Radiat Res
208	Oike T	放射線科	Inactivating Mutations in SWI/SNF Chromatin Remodeling Genes in Human Cancer	Japanese Journal of Clinical Oncology
209	Oike T	放射線科	A Synthetic Lethality-Based Strategy to Treat Cancers Harboring a Genetic Deficiency in the Chromatin Remodeling Factor BRG1	Cancer Res.
210	Oike T	放射線科	Radiotherapy plus Concomitant Adjuvant Temozolomide for Glioblastoma: Japanese Mono-Institutional Results	PLOS ONE
211	Okonogi N	放射線科	Changes in Bone Mineral Density in Uterine Cervical Cancer Patients After Radiation Therapy	International Journal of Radiation Oncology Biology Physics
212	Shirai K	放射線科	Prognosis was not deteriorated by multiple primary cancers in esophageal cancer patients treated by radiotherapy	J Radiat Res
213	Shirai K	放射線科	X Irradiation Changes Dendritic Spine Morphology and Density through Reduction of Cytoskeletal Proteins in Mature Neurons	RADIATION RESEARCH
214	Subedi K S	放射線科	Usefulness of double dose contrast-enhanced magnetic resonance imaging for clear delineation of gross tumor volume in stereotactic radiotherapy treatment planning of metastatic brain tumors: a dose comparison study	Journal of Radiation Research
215	Suzuki Y	放射線科	Three-Dimensional and Multi-Energy γ -ray Simultaneous Imaging Using a Si/CdTe Compton Camera	Radiology
216	Tamaki T	放射線科	Carbon-ion radiotherapy for marginal lymph node recurrences of cervical cancer after definitive radiotherapy: a case report	Radiation Oncology
217	Ohkubo Y	放射線科	Interfractional change of high-risk CTV D90 during image-guided brachytherapy for uterine cervical cancer	J Radiat Res.
218	Ohkubo Y	放射線科	Granulocyte-colony stimulating factor-producing cervical cancers treated with carbon-ion irradiation	J Obstet Gynaecol Res
219	Qingsong Liu	放射線科	Characterization of Torin2, an ATP-Competitive Inhibitor of mTOR, ATM, and ATR	Cancer Res
220	Wakatsuki M	放射線科	Impact of boost irradiation on pelvic lymph node control in patients with cervical cancer.	J Radiat Res.
221	Achmad A, Taketomi-Takahashi A, Tsushima Y	核医学科	Current developments and clinical applications of bubble technology in Japan: a report from 85th Annual Scientific Meeting of The Japan Society of Ultrasonic in Medicine, Tokyo, 25-27 May, 2012	Med Ultrason
222	Miyazaki M, Shibuya K, Tokue H, Tsushima Y	核医学科	Percutaneous transhepatic biliary drainage assisted by real-time virtual sonography: a retrospective study.	BMC Gastroenterology
223	Nakajima T, Turkbey B, Sano K, Sato K, Bernardo M, Hoyt RF, Choyke PL, Kobayashi H	核医学科	MR lymphangiography with intradermal gadofosveset and human serum albumin in mice and primates.	J Magn Reson Imaging
224	Nakajima T, Sano K, Choyke PL, Kobayashi H	核医学科	Improving the efficacy of Photoimmunotherapy (PIT) using a cocktail of antibody conjugates in a multiple antigen tumor model.	Theranostics
225	Katsumata N, Aoki J, Tashiro M, Taketomi-Takahashi A, Tsushima Y	核医学科	Characteristics of cervical computed tomography findings in kawasaki disease: a single-center experience.	J Comput Assist Tomogr
226	Miyazaki M, Nakayama A, Noda D, Maehara Y, Tsushima Y	核医学科	Difficulty in complete transarterial embolization for pulmonary benign metastasizing leiomyoma with massive hemoptysis.	Japanese Journal of Radiology
227	Moriya S, Aoki J, Tashiro M, Taketomi-Takahashi A, Tsushima Y	核医学科	Peribronchovascular haze: a frequently observed finding on chest X-rays in the acute phase of Kawasaki disease.	Jpn J Radiol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
228	Tokue H, Tokue A, Tsushima Y	核医学科	Synchronous adrenal metastasis and an inferior vena cava tumor thrombus from an ovarian carcinoma.	J Ovarian Res
229	Nakano S, Okauchi K, Tsushima Y	核医学科	Chronic contained rupture of abdominal aortic aneurysm (CCR-AAA) with massive vertebral bone erosion: computed tomography (CT), magnetic resonance imaging (MRI) and fluorine-18-fluorodeoxyglucose positron emission tomography (FDG-PET) findings.	Jpn J Radiol
230	Hanaoka H, Kuroki M, Yamaguchi A, Achmad A, Iida Y, Higuchi T, Oriuchi N, Endo K	核医学科	Fractionated radioimmunotherapy with 90Y-labeled fully human anti-CEA antibody.	Cancer Biotherapy & Radiopharmaceuticals
231	Kumasaka S, Arisaka Y, Tokue A, Higuchi T, Nakajima T, Tsushima Y	核医学科	A case of multiple hepatic angiomyolipomas with high 18 F-fluorodeoxyglucose uptake.	BMC Medical Imaging
232	Kumasaka S, Miyazaki M, Shibuya K, Tsushima Y	核医学科	A successful case of pushing, catching, and fixing a migrated microcoil using a detachable coil.	Japanese journal of radiology
233	Tokue H, Tokue A, Tsushima Y	核医学科	Successful interventional management of abdominal compartment syndrome caused by blunt liver injury with hemorrhagic diathesis.	World J Emerg Surg
234	Morita M, Higuchi T, Achmad A, Tokue A, Arisaka Y, Tsushima Y	核医学科	Complementary roles of tumor specific PET tracer 18F-FAMT to 18F-FDG PET/CT for the assessment of bone metastasis.	Eur J Nucl Med Mol I
235	Sano K, Nakajima T, Choyke PL, Kobayashi H	核医学科	Markedly enhanced permeability and retention effects induced by photo-immunotherapy of tumors.	ACS Nano
236	Sano K, Nakajima T, Ali T, Bartlett DW, Wu AM, Kim I, Paik CH, Choyke PL, Kobayashi H	核医学科	Activatable fluorescent cys-diabody conjugated with indocyanine green derivative: consideration of fluorescent catabolite kinetics on molecular imaging.	J Biomed Opt
237	Sano K, Nakajima T, Miyazaki K, Ohuchi Y, Ikegami T, Choyke PL, Kobayashi H	核医学科	Short PEG-linkers improve the performance of targeted, activatable monoclonal antibody-indocyanine green optical imaging probes.	Bioconjug Chem
238	Sano K, Mitsunaga M, Nakajima T, Choyke PL, Kobayashi H	核医学科	Acute cytotoxic effects of photoimmunotherapy assessed by 18F-FDG PET.	J Nucl Med
239	Sano K, Nakajima T, Choyke PL, Kobayashi H	核医学科	The effect of photoimmunotherapy (PIT) followed by liposomal daunorubicin in a mixed tumor model: A demonstration of the super enhanced permeability and retention (SUPR) effect after PIT.	Mol Cancer Ther
240	Murakami T, Tajika Y, Ueno H, Awata S, Hirasawa S, Sugimoto M, Kominato Y, Tsushima Y, Endo K, Yorifuji H	核医学科	An integrated teaching method of gross anatomy and computed tomography radiology.	Anat Sci Educ
241	Kaira K, Serizawa M, Koh Y, Takahashi T, Yamaguchi A, Hanaoka H, Oriuchi N, Endo M, Ohde Y, Nakajima T, Yamamoto N	核医学科	Biological significance of 18F-FDG accumulation on PET in Patients with Non-Small-Cell.	Lung Cancer
242	Miida T, Nishimura K, Okamura T, Hirayama S, Ohmura H, Yoshida H, Miyashita Y, Ai M, Tanaka A, Sumino H, Murakami M, Inoue I, Kayamori Y, Nakamura M, Nobori T, Miyazawa Y, Teramoto T, Yokoyama S.	検査部	Validation of homogeneous assays for HDL-cholesterol using fresh samples from healthy and diseased subjects.	Atherosclerosis. 2014 Mar;233(1):253-9

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
243	Kimura T, Tsunekawa K, Ogiwara T, Tokue Y, Nara M, Inoue T, Obuchi T, Suto C, Ohshima K, Murakami M	検査部	Seroprevalence of measles- and mumps-specific immunoglobulin G among Japanese healthcare students increased during 2007-2012	Jpn J Infect Dis 2013;66(5):411-5.
244	Miyashita K, Kobayashi J, Imamura S, Kinoshita N, Stanhope KL, Havel PJ, Nakajima K, Machida T, Suminó H, Nara M, Murakami M.	検査部	A new enzyme-linked immunosorbent assay system for human hepatic triglyceride lipase.	Clin Chim Acta. 2013 Sep 23;424:201-6.
245	Ogiwara T, Kimura T, Tokue Y, Watanabe R, Nara M, Obuchi T, Yaegashi A, Yomoda S, Ohshima K, Murakami M.	検査部	Tuberculosis screening using a T-cell interferon- γ release assay in Japanese medical students and non-Japanese international students.	Tohoku J Exp Med 2013;230(2):87-91
246	Ogiwara T, Araki O, Morimura T, Tsunekawa K, Mori M, Murakami M	検査部	A novel mechanism for the inhibition of type 2 iodothyronine deiodinase by tumor necrosis factor alpha: involvement of proteasomal degradation.	Endocr J 2013;60(9):1035-45.
247	Segawa A, Nagamori S, Kanai Y, Masawa N, Oyama T.	病理部	L-type amino acid transporter 1 expression is highly correlated with Gleason score in prostate cancer.	Mol Clin Oncol
248	Nobusawa A, Sano T, Negishi A, Yokoo S, Oyama T.	病理部	Immunohistochemical staining patterns of cytokeratins 13, 14, and 17 in oral epithelial dysplasia including orthokeratotic dysplasia.	Pathol Int
249	Shintaku M, Yoneda H, Hirato J, Nagaishi M, Okabe H	病理部	Gliosarcoma with ependymal and PNET-like differentiation.	Clin Neuropathol
250	Nobusawa S, Suzuki A, Nagaishi M, Isoda K, Ikota H, Yokoo H, Hirato J, Nakazato Y	病理部	Anaplastic ependymoma with ependymoblastic multilayered rosettes	Hum Pathol
251	Yamada Y, Nishi A, Kato M, Toki F, Yamamoto H, Suzuki N, Hirato J, Hayashi Y	病理部	Esophagitis with eosinophil infiltration associated with congenital esophageal atresia and stenosis	Int Arch Allergy Immunol
252	Imataka G, Yamanouchi H, Hirato J, Eguchi M, Kojima M, Honma K, Arisaka O.	病理部	Autopsy report of a 7-year old patient with the mosaic trisomy 13.	Cell Biochem Biophys
253	Yamazaki F, Osumi T, Kosaki K, Mikami S, Hirato J, Shimada H.	病理部	Large congenital melanocytic nevi with atypical teratoid/rhabdoid tumor.	Pediatr Blood Cancer
254	Sano K, Toda M, Sasaki H, Kitamura Y, Mikami S, Hirato J, Inoue S, Kawase T, Yoshida K.	病理部	Infratentorial low-grade oligoastrocytoma with aggressive clinical behavior in an adult: a case report with genetic characterization.	Brain Tumor Pathol
255	Tahara H, Sato K, Yamazaki Y, Ohyama T, Horiguchi N, Hashizume H, Kakizaki S, Takagi H, Ozaki I, Arai H, Hirato J, Jesenofsky R, Masamune A, Mori M	病理部	Transforming growth factor-alpha activates pancreatic stellate cells and may be involved in matrix metalloproteinase-1 upregulation.	Lab Invest
256	Tosaka M, Sato K, Amanuma M, Higuchi T, Arai M, Aishima K, Shimizu T, Horiguchi K, Sugawara K, Yoshimoto Y	病理部	Superficial Siderosis of the Central Nervous System Caused by Hemorrhagic Intraventricular Craniopharyngioma: Case Report and Literature Review.	Neurol Med Chir (Tokyo)
257	Sohmiya M, Wada N, Tazawa M, Okamoto K, Shirakura K	リハビリテーション部	Immediate effects of physical therapy on gait disturbance and frontal assessment battery in Parkinson's disease	Geriatr Gerontol Int

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
258	Megumi Ida., Itsurou Ida., Naoki Wada., Makoto Sohmiya., Masayuki Tazawa., and Kenji Shirakura	リハビリテーション部	A clinical study of the efficacy of a single session of individual exercise for depressive patients, assessed by the change in saliva free cortisol level.	BioPsychoSocial Medicine
259	Yota ABE, Tomoaki SUGAYA	リハビリテーション部	Postural control characteristics during single leg standing in individuals with a history of ankle sprain: Measurements obtained using a gravicorder and head and foot accelerometry.	Journal of Physical Therapy Science
260	Shuichi Hagiwara, MD, PhD, Kiohiro	救命・総合医療センター	Usefulness of fibrin degradation products and d-dimer levels as biomarkers that reflect the severity of trauma	J Trauma Acute Care Surg
261	Hagiwara S, Murata M, Aoki M, Kaneko M, Oshima K	救命・総合医療センター	Septic shock caused by Klebsiella oxytoca: An autopsy case and a survival case with driving Extracorporeal Membrane Oxygenation.	HIPPOKRATIA
262	Shuichi Hagiwara, MD, Kiohiro Oshima, MD, PhD, Kazumi Furukawa, MD, PhD, Takuro Nakamura, MD, PhD, Yoshio Ohyama, MD, PhD, and Jun-ichi Tamura,	救命・総合医療センター	The Significance of Albumin Corrected Anion Gap in Patients with Cardiopulmonary Arrest	Reprinted from Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery
263	Hagiwara S, Kaneko M, Murata M, Ikegami T, Oshima K	救命・総合医療センター	A survival case of severe liver failure caused by acetylsalicylic acid that was treated with living donor liver transplantation	HIPPOKRATIA
264	Taufik Rusdiana, Takuya Araki, Tomonori Nakamura, Anas Subarnas, Koujiro Yamamoto	薬剤部	Responsiveness to low-dose warfarin associated with genetic variants of VKORC1, CYP2C9, CYP2C19, and CYP4F2 in an Indonesian population.	European Journal of Clinical Pharmacology
265	Kyoko Obayashi, Takuya Araki, Katsunori Nakamura, Masahiko Kurabayashi, Yoshihisa Nojima, Katsuyuki Hara, Tomonori Nakamura, Koujiro Yamamoto	薬剤部	Risk of Falling and Hypnotic Drugs: Retrospective Study of Inpatients.	Drugs in R&D
266	Tomita H, Kadokami T, Momii H, Kawamura N, Yoshida M, Inou T, Fukuizumi Y, Usui M, Aomori T, Yamamoto K, Uno T and Ando	薬剤部	Patient Factors against Stable Control of Warfarin Therapy for Japanese Non-valvular Atrial Fibrillation Patients.	Thrombosis Research
267	Kazumi Hirooka-Masui, Ronny Lesmana, Toshiharu Iwasaki, Ming Xu, Kaori Hayasaka, Mizuki Haraguchi, Akira Takeshita, Noriaki Shimokawa, Koujiro Yamamoto, Noriyuki Koibuchi	薬剤部	Interaction of silencing mediator for retinoid and thyroid receptors with steroid and xenobiotic receptor on multidrug resistance 1 promoter	Life Sci
268	Takeshi Akiyoshi, Marie Ito, Saori Murase, Mitsue Miyazaki, F. Peter Guengerich, Katsunori Nakamura, Koujiro Yamamoto, Hisakazu Ohtani	薬剤部	Mechanism-based inhibition profiles of erythromycin and clarithromycin with cytochrome P450 3A4 genetic variants	Drug Metabolism and Pharmacokinetics
269	Yukiyoshi Fujita, Takuya Araki, Yuko Okada, Tohru Aomori, Rumi Shimizu, Takeshi Tomizawa, Keiju Hiromura, Yoshihisa Nojima, Tomonori Nakamura, Koujiro Yamamoto	薬剤部	Analysis of cytochrome P450 gene polymorphism in a lupus nephritis patient in whom tacrolimus blood concentration was markedly elevated after administration of azole antifungal agents.	Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
270	Tohru Aomori, Yukiyoshi Fujita, Kyoko Obayashi, Hiroaki Sato, Kazuma Kiyotani, Katunori Nakamura, Tomonori Nakamura, Koujiro Yamamoto	薬剤部	Case report: dose adjustment of warfarin using genetic information and plasma concentration monitoring	Journof Clinical Pharmacy and Therapeutics
271	Kaira K, Sunose Y, Ohshima Y, Ishioka NS, Arakawa K, Ogawa T, Sunaga N, Shimizu K, Tominaga H, Oriuchi N, Itoh H, Nagamori S, Kanai Y, Yamaguchi A, Segawa A, Ide M, Mori M, Oyama T, Takeyoshi I.	第一内科、第二外科、核医学科、病理部	Clinical significance of L-type amino acid transporter 1 expression as a prognostic marker and potential of new targeting therapy in biliary tract cancer.	BMC Cancer
272	Ohtaki Y, Shimizu K, Kakegawa S, Nagashima T, Nakano T, Atsumi J, Enokida Y, Igai H, Ibe T, Sugano M, Kamiyoshihara M, Kawashima O, Kaira K, Sunaga N, Takeyoshi I.	第一内科、第二外科	Postrecurrence survival of surgically resected pulmonary adenocarcinoma patients according to EGFR and KRAS mutation status.	Mol Clin Oncol
273	Nobusawa A, Kim M, Kaira K, Miyashita G, Negishi A, Oriuchi N, Higuchi T, Tsushima Y, Kanai Y, Yokoo S, Oyama T.	第一内科、核医学科、病理部	Diagnostic usefulness of ¹⁸ F-FAMT PET and L-type amino acid transporter 1 (LAT1) expression in oral squamous cell carcinoma.	Eur J Nucl Med Mol Imaging
274	Shibusawa N., Yamada M., Hashida T., Hashimoto K., Satoh T., Horiguchi J., Oyama T., Takeyoshi I. and Mori M.	第一内科、第二外科、病理部	Dilated cardiomyopathy as a presenting feature of Cushing's syndrome	Intern Med
275	Kaira K, Toyoda M, Shino M, Sakakura K, Takahashi K, Tominaga H, Oriuchi N, Kanai Y, Oyama T, Chikamatsu K.	第一内科、耳鼻咽喉科、病理部	Clinicopathological significance of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) expression in patients with adenoid cystic carcinoma.	Pathol Oncol Res. 2013 Oct;19(4):649-56.
276	Syamsunarno MR, Iso T, Yamaguchi A, Hanaoka H, Putri M, Obokata M, Sunaga H, Koitabashi N, Matsui H, Maeda K, Endo K, Tsushima Y, Yokoyama T, Kurabayashi M	第二内科、核医学科	Fatty acid binding protein 4 and 5 play a crucial role in thermogenesis under the conditions of fasting and cold stress.	PLoS One
277	Iso T, Maeda K, Hanaoka H, Suga T, Goto K, Syamsunarno MR, Hishiki T, Nagahata Y, Matsui H, Arai M, Yamaguchi A, Abumrad NA, Sano M, Suematsu M, Endo K, Hotamisligil GS, Kurabayashi M.	第二内科、核医学科	Capillary endothelial fatty acid binding proteins 4 and 5 play a critical role in fatty acid uptake in heart and skeletal muscle.	Arterioscler Thromb Vasc Biol.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
278	Syamsunarno MR, Iso T, Hanaoka H, Yamaguchi A, Obokata M, Koitabashi N, Goto K, Hishiki T, Nagahata Y, Matsui H, Sano M, Kobayashi M, Kikuchi O, Sasaki T, Maeda K, Murakami M, Kitamura T, Suematsu M, YoshitoTsushima, Endo K, Hotamisligil GS, Kurabayashi M	第二内科、核医学科、検査部	A critical role of fatty acid binding protein 4 and 5 (FABP4/5) in the systemic response to fasting.	PLoS One 2013 Nov 14;8(11):e79386
279	Kobayashi T, Oshima K, Yokobori T, Idetsu A, Hayashi Y, Hinohara RN, Miyazaki T, Kunimoto F, Kato H, Kuwano H	第一外科、麻酔科蘇生科	Perioperative nutrition in esophageal cancer patients undergoing esophagectomy.	Hepatogastroenterology. 60(126): 1311-6
280	Sohda M, Honjo H, Hara K, Ozawa D, Suzuki S, Tanaka N, Sano A, Sakai M, Yokobori T, Inose T, Miyazaki T, Ojima H, Higuchi T, Tsushima Y, Kuwano H	第一外科、核医学科	L-[3-18F]-alpha-methyltyrosine accumulation as a definitive chemoradiotherapy response predictor in patients with esophageal cancer.	Anticancer Res. 34(2):909-13
281	Miyazaki T, Sohda M, Higuchi T, Tanaka N, Suzuki S, Sakai M, Yokobori T, Nakajima M, Fukuchi M, Tsushima Y, Kato H, Kuwano H	第一外科、核医学科	Effectiveness of FDG-PET in screening of synchronous cancer of other organs in patients with esophagealcancer.	Anticancer Res. 34(1):283-7
282	Nakajima H., Ishikawa Y., Furuya M., Sano T., Ohno Y., Horiguchi J. and Oyama T.	第二外科、病理部	Protein expression, gene amplification, and mutational analysis of EGFR in triple-negative breast cancer	Breast Cancer
283	Makiguchi T, Horiguchi J, Nagaoka R, Yokoo S, Terashi H, Oyama T, Takeyoshi I.	第二外科、病理部	Huge myoid hamartoma of the breast treated with reduction mammoplasty: report of a case.	Surg Today

計 283

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ※国による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（案）」の策定状況を考慮しつつ、手順書等の整備に向けた準備を進めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1. 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2. 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 対象者の範囲、対象事項、管理委員会の設置、調査方法、審議・勧告及び決定の手続、研修の実施、情報公開等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 研究における不正防止について	

- (注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

- 指導医養成講習会 (対象: 医師)
- CVCセミナー (対象: 医師)
- コンフリクトマネジメントセミナー (対象: 医師, コ・メディカル)
- 臨床医のための統計セミナー (対象: 医師, コ・メディカル, 学生)
- 医療統計学 再入門 セミナー (対象: 医師, コ・メディカル, 学生)
- SPSS実習セミナー (対象: 医師, コ・メディカル)
- 腹腔鏡手術手技ヘルニア・ハンズオンセミナー (対象: 医師)
- CVC指導医養成講習会 (対象: 医師)
- CVC実践講習会 (対象: 医師)
- がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会 (対象: 医師)

2 研修の実績

研修医の人数	70.7人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山田正信	第一内科	教授	31.4年	
倉林正彦	第二内科	教授	33.4年	
野島美久	第三内科	教授	35.4年	
池田佳生	神経内科	教授	22.4年	
桑野博行	第一外科	教授	36.4年	
竹吉泉	第二外科	教授	32.4年	
鈴木和浩	泌尿器科	教授	26.4年	
横尾聡	歯科口腔外科	教授	27.3年	
高岸憲二	整形外科	教授	39.4年	
石川治	皮膚科	教授	35.4年	
岸章治	眼科	教授	38.3年	
近松一朗	耳鼻咽喉科	教授	25.4年	
福田正人	精神科神経科	教授	31.4年	
齋藤繁	麻酔科蘇生科	教授	28.4年	
好本裕平	脳神経外科	教授	31.4年	
荒川浩一	小児科	教授	31.4年	
峯岸敬	産科婦人科	教授	33.5年	
中野隆史	放射線科	教授	31.6年	
対馬義人	核医学・画像診療部	教授	23.4年	
村上正巳	検査部・画像診療部	教授	32.4年	
齋藤繁	集中治療部	教授	28.4年	
小山徹也	病理部	教授	26.6年	
大嶋清宏	救命総合医療センター	教授	22.4年	
田村遵一	救命総合医療センター	教授	31.4年	
中村哲也	臨床試験部	准教授	32.4年	
白倉賢二	リハビリテーション部	教授	39.5年	
塚本憲史	腫瘍センター	准教授	30.4年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p>
<p>○ コンフリクトマネジメントセミナー （研修の期間・実施回数） i ;平成25年7月14日～15日・ ii ;同年11月2日～3日, 2回 （研修の参加人数） i ;30人・ ii ;27人</p> <p>○ がん分野における質の高い看護師育成研修【群馬県内看護師対象】 （研修の期間・実施回数）平成25年9月17日～同年12月4日, 1回 （研修の参加人数）12人</p> <p>○ 【群馬県内がん登録実務者研修会】胆嚢, 胆管, 膵臓のがん登録 （研修の期間・実施回数）平成25年11月30日, 1回 （研修の参加人数）50人</p> <p>○ がんの基礎知識・がん専門病院における就労支援・がんになっても仕事を辞めない・グループワーク（予定）【群馬県内相談員対象】 （研修の期間・実施回数）平成26年7月22日・平成27年1月頃, 2回（予定） （研修の参加人数）61人</p>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<p>○ 【群馬県内がん登録実務者研修会】胆嚢, 胆管, 膵臓のがん登録 （研修の期間・実施回数）平成25年11月30日, 1回 （研修の参加人数）50人</p>
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>
<p>○ 肺がんの診断と治療・血液腫瘍の診断とケア・食道がんの診断と治療, 放射線治療の基礎【全医療従事者】 （研修の期間・実施回数） i ;平成26年6月12日・ ii ;同年9月11日・ iii ;同年11月6日(予定), 3回 （研修の参加人数） i ;126人・ ii ;185人</p> <p>○ 【緩和ケア研修会】厚生労働省緩和ケア研修会標準プログラムに準拠の緩和ケア研修会 （研修の期間・実施回数）平成26年4月19日～20日, 1回 （研修の参加人数）24人</p>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長：野島 美久
管理担当者氏名	総務課長：小出 利一 医事課長：今泉 一宏

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課、システム統合センター	電子カルテによる管理（医事課）	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	紙媒体のファイルを保管、管理（医事課）	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績			
	閲覧実績			
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部		
	第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び第九条の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医事課
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医事課		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医事課		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医事課		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医事課		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	紙媒体のファイルを保管、管理（医事課）
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	管理運営課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEサプライセンター、放射線部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEサプライセンター、放射線部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEサプライセンター、放射線部			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院長：野島 美久	
閲覧担当者氏名	総務課長：小出 利一	
閲覧の求めに応じる場所	医学部附属病院	
閲覧の手続の概要		
・ 閲覧希望者がいた場合には総務課にて対応している。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">当院における安全管理の基本的考え方：安全文化の育成医療安全を推進するための委員会等の設置職員に対する研修の基本方針事故報告などの医療に関わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針事故発生時の対応に関する基本方針情報の共有に関する基本方針（当該指針の閲覧に関する基本方針）患者相談への対応に関する基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療業務安全管理委員会：医療事故防止専門委員会からのインシデント報告書の分析結果等の報告を受け、分析結果や改善指摘事項等について協議するとともに、その改善事項等の決定及び各診療科等への改善命令等の決定を行う。医療事故防止専門委員会：具体的なインシデント・アクシデント報告書の内容分析を行い、改善事項等について審議し、その結果を上部委員会へ報告するとともに、決定された改善事項についてや、テーマを設けての病棟等巡視点検を行う。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年27回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">25年度は全体研修として「医療安全職員研修」(全4回)、「CVC認定制度説明会」、「臓器移植講演会」、「トリアージ勉強会」、「医療機器講習会」、「児童虐待予防講演会」、「認知症講演会」、「ICU講演会」、「院内救命講習」(全12回)を実施した。医療安全職員研修については研修状況を撮影し、当日参加できなかった者に対し上映会(全4回)を開催した。また、e-Learningでの受講ができるよう整備した。その他に新規採用者へ、本院の医療安全管理体制、麻薬管理など4テーマについて研修の実施およびオリエンテーションで、医療安全に関する講演を行い、委託職員へ外来窓口対応についての安全研修を実施した。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備（有・無）その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">各診療科、病棟等にリスクマネージャー93名を配置。医療事故防止専門委員による院内巡視。院内へ向け『医療安全情報』を発信。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（4名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（6名）・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（ 4）名 兼任（ 5）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故発生時の即時対応 ・ インシデント・アクシデント報告書の即時調査、分析、管理 ・ 医療業務安全管理委員会、医療事故防止専門委員会、医療事故調査専門委員会、リスクマネージャー会議に関する事 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">病院感染対策に関する基本的な考え方感染対策委員会及び感染制御部職員研修病院感染発生の状況調査並びに病院感染発生時の対応病院感染対策マニュアル患者への情報提供と説明その他の病院感染対策の方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">感染対策の実施及び指導感染対策に関する必要事項の検討感染症の情報収集、整理、解析及び対策感染症の解析結果の迅速な情報提供感染症の継続的観察及び対策実施後の評価感染症に関する啓発、講習、教育感染防止のためのガイドライン及びマニュアルの整備	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年10回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">25年度は全体研修として「感染対策講演会」(全3回)を実施した。研修状況を撮影し、当日参加できなかった者に対し上映会(全7回)を開催した。また、e-Learningでの受講ができるよう整備した。その他に新規採用者への研修会およびオリエンテーションで、感染対策に関する講演を行い、委託職員へ感染対策についての研修を実施した。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">毎月の感染対策委員会、感染制御部運営委員会合同委員会の開始前に、テーマを決めて委員による院内の視察を行い、評価、改善指導を行っている。長期使用抗菌薬の定期的調査を行っている。	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新任全職員に対し「麻薬の取り扱い」の講義、新人看護師に対し「医療安全面からみた薬剤の基礎知識」の講義、年2回の看護部の静脈注射研修会において「ハイリスク薬の取り扱い」の講義を、医療安全職員研修会において「抗がん薬の取り扱いについて」などの医薬品に関する講義をルーチンに行っている。・ その他、各病棟担当薬剤師が各病棟スタッフの要望により、医薬品の関する講義を各病棟にて随時行っている。	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">各部門毎に業務手順書を作成し、定期的に(年に1回以上)見直しをしている。また手順書に沿って業務を行えているか、チェックシートを用いて確認し、必要であれば指導をしている。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 各病棟に薬剤師を配置し、医薬品の使用、管理の適正について日常的に確認をしている。・ 外来部門、中央診療部門の配置薬の管理について、薬剤師が定期的に(月に1回以上)巡視を行い、確認している。・ 麻薬についても麻薬担当者が定期的に巡視を行い、管理・使用状況を確認および指導している。	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 5回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 診療用放射線発生装置 及び シミュレータ装置 (ONCOR, SYNERGY, TORILOGY, AQUITY, LightSpeedRT16) (東芝, ELEKTA, VARIAN, GE) (対象者) 放射線治療室スタッフ (内容) リニアック室及びシミュレータ室内にて治療室主任が説明 2. アフターローディング式治療装置 及び シミュレータ装置 (MicroselectronHDR, Asteion, LX40) (Nucletron, 東芝) (対象者) 放射線治療室スタッフ (内容) リニアック室及びシミュレータ室内にて治療室主任が説明 3. アフターローディング式治療装置 及び シミュレータ装置 (ONCOR, SYNERGY, TORILOGY, AQUITY, LightSpeedRT16) (東芝, ELEKTA, VARIAN, GE) (対象者) 放射線治療室スタッフ (内容) リニアック室及びシミュレータ室内にて治療室主任が説明 4. アフターローディング式治療装置 及び シミュレータ装置 (MicroselectronHDR, Asteion, LX40) (Nucletron, 東芝) (対象者) 放射線治療室スタッフ (内容) リニアック室及びシミュレータ室内にて治療室主任が説明 5. 重粒子線治療装置 (三菱電機) (対象者) 診療放射線技師 (内容) メーカー担当者による説明 6. 重粒子線治療装置 (三菱電機) (対象者) 診療放射線技師 (内容) メーカー担当者による説明 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 診療用高エネルギー放射線発生装置および診療用粒子線照射装置保守契約ならびにその他機器の保守契約, 自主点検。 医療機器安全管理委員会下部組織であるMEサプライセンター運営委員会にて毎月保守点検の実施報告を行う。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： オペ室外科用イメージは、放射線技師が故障対応を行っているがオペ室所有の装置であり管理に関わってこなかった。そこで、当該装置の修理歴および今後予想される故障についてメーカーに調査依頼し、自主点検のため添付文書も入手する。オペ室運営委員会にて、調査について報告し、メンテナンス契約等について検討のうえ改善を進める。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 装置の有効性（効果）、使用方法（操作方法）、原理、トラブル対応等 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 （○有・無） ・ 保守点検の主な内容： 外装、各動作確認等 輸液ポンプ、シリンジポンプ、透析装置、下肢圧迫装置、経腸栄養ポンプ等は院内で保守点検実施。人工呼吸器、人工心肺装置、保育器などはネットワーク日海メーカー保守点検実施。毎月行われているME サプライセンター委員会にて、保守点検状況を報告 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （○有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器などの改修案内等は、毎月行われているME サプライセンター委員会にて報告 	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 ○日本医療機能評価機構 (平成26年4月4日認定)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ○本院ホームページ等において、病院の理念、基本方針等を掲載している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ○患者支援センターを窓口にして、診療科間で連携している。	